調査番号 AN分用貝裂地番号	調査年月日	調査者	名称	糸 素材	糸 タテ	糸 ヌキ	色 地色	色 染料・顔料	色 タテ	色 ヌキ	加工技法 織技法	加工技法 染技法	加工技法 その他	文様	形状	用途	特記事項	調査所見	製作地	製作年	織名称	法量 縦	法量 横	法量 縦耳	備考
0012-003-01-002	2004/11/29	切畑 健	捻染標本色染第12号 四之内[参]	絹	無撚	ss,zz,ssの撚り交互	白生地、後加工		白	白	平坦織、タテの密度が高い	捺染	薄手の絽やかな風合い、かすかにシボがうかがえる	枠に花枝、有栖川調	長方形31.4×12.3	不明、服地か	紙札記「明.43.2購入(外国)」エンジ、濃淡モエギ、こげ茶など濃厚な地色に牛、ムラサキ、エンジなどの花文が あらわされている。全体に濃厚な感覚の裂、有栖川調に階段状に表現されている。白の地落綿が効果的である。ヌキの密度が低いのでかすかに透き間が見える効果がある	軽やかな裂地。濃厚な色彩に特徴がある。							この微細さをきわめたような染織美に敬明される
0012-01-003-03	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	作蚕（絹）	作蚕糸	作蚕糸	白地に捺染　黒、ブルー、ピンク				平織	作蚕生地に顔料捺染		幾何模様、ベズリー柄	裂地　10cm×11cm	服地						裂地　10cm×11cm			
0012-01-005-02	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	経て糸　木綿	絹	ヌキ　金糸	6色プリント				粗な平織り　1cm間　経糸21本、緯糸の金糸24本の繊維間の隙間の多い織物	6色の顔料捺染、金糸の保存中の硫化変色に変色、細かい部分に点状に変色しているために生地全体が褐色化、古代色となって冴い。		ベズリー崩れ模様	裂地　14×12cm	壁紙と推定	中央サンプル	191年3月製本				裂地　14×12cm			
0012-01-007-01	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	絹	絹 4本諸糸	ヌキ　絹　緯い片撚り	ダークグリーンの淡色地色				平織但し3cmの平織、2、5cmのビロード（毛長のパイルの）の繰り返し	捺染、地色と捺染、4色の捺染であが染料つかいでないかと推定される		ベズリー模様、ビロードによる絹	裂地　25×13、5cm	不明						裂地　25×13.5cm			
0012-01-008-03	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	絹　縮緬	絹　強撚糸 と 合せ糸	ヌキ　絹　強撚糸	10色捺染				縮緬で緯糸5cm間に11本の打ち込み（緯い糸）	経糸、より糸数本、合せ糸数本の組み合わせで経て糸を作る	精練後、張り加工して伸縮性を止める、捺染加工している	花柄	裂地	服飾						裂地			
0012-01-010-01	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	絹	絹	ヌキ　絹撚糸系	茶系の濃淡捺染				縮緬	捺染		幾何模様	ネクタイ裂	ネクタイ						ネクタイ裂			
0012-01-011-01	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本		絹	ヌキ　絹	茶系の捺染				平織	捺染　　捺染技法については特記さしな		ベズリー崩れ	裂地	スカーフ		当該織物については本サンプル帖には多い				裂地			
0012-01-012-01	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	おそらく作蚕	絹	ヌキ　絹					平織	捺染		スカーフ柄模様	裂地	服地						裂地			
0012-01-012-03	2009/7/28	生谷 吉男	捻染標本	絹	絹	ヌキ　絹	白地　地色に淡い青、				平織りに細かい部分に菱形4個の朱子地の地紋	捺染方法は不明		幾何柄	裂地標本　6.5×8.0 cm	服地						裂地標本　6.5×8.0 cm			
0012-01-013-01	2004/11/29	生谷 吉男	捻染標本		絹	ヌキ　太い緯糸、細い緯糸	捺染				経絹糸の引きそろえで緯度に太い糸を入れ2mm間の絽としそれを止める緯糸に細の細い糸を入れている。	是に捺染している。太絽と細に糸間は高低差があるが絽の上にのみ捺染されている。絽ごとに1つ宛に加工がされている。		ベズリーくずれ柄	裂地	服飾						裂地			
0012-01-017-03	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	絹	絹	ヌキ　絹					絹　平織	おそらくスクリーン捺染		ベズリーくずれ模様	裂地							裂地			
0012-01-026-01	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本	おそらく麻	麻	ヌキ　麻	白地に捺染				平織	捺染で大判の型		スカーフのための1枚物の柄 時形状なっている	大きい裂地	スカーフ						大きい裂地			
0012-01-027-02	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本		絹	ヌキ　太い緯糸、金糸	捺染				表面に緯糸として太い糸と次の太い糸の約3.5mmに間に金糸3本は織り込まれている。	是に捺染している。捺染部には糊が残存している。　水洗しなかった	捺染部には糊が残存している。　水洗しなかった	ベズリーくずれ柄	裂地	服飾	壁紙のようである。					裂地			
0012-02-001-02	2004/10/26	生谷 吉男	捻染標本	織維が扁平で太い	作蚕	ヌキ　作蚕	5色プリント				作蚕糸の平織りにプリント			5色プリント、ベズリー様の柄	裂地	壁紙；						裂地			
0012-02-001-03	2004/10/26	生谷 吉男	捻染　標本	畝織り	絹	ヌキ　太い羊毛糸	6色の捺染				緯糸に太い羊毛糸を入れ畝織りとなっている	捺染技法はおそらくスクリーン捺染		草柄	裂	服地、壁紙						裂			
0012-02-001-04	2004/10/26	生谷 吉男	捻染見本	変化綾織り	絹	ヌキ　絹	淡　茶色　白				緯糸を浮かして地模様にし、その中に平織り	捺染技法　おそらくスクリーン捺染		鎖模様	裂地	服地						裂地			
0012-02-001-05	2004/10/26	生谷 吉男	捻染見本	変化綾織り	絹	ヌキ　絹　細い強撚糸	淡　茶色　白				緯糸を浮かして地模様にし、その中に平織り	捺染技法　おそらくスクリーン捺染		鎖模様	裂地	服地									
0012-02-002-04	2004/10/26	生谷 吉男	捻染　標本	絹　ジョーゼット	絹　細い強撚糸	ヌキ　絹　細い強撚糸	白地に金粉捺染					後練りと判断する。精練後張り加工して広げ捺染していると考える。　接着剤を捺染してその上に金粉を振りかけたもの		花模様	裂	服地、壁紙						裂			
0012-02-003-03	2004/10/26	生谷 吉男	捻染　標本		絹	ヌキ　絹	赤色の捺染				斜文織			幾何模様	裂	服地、壁紙						裂			
0012-02-004-02	2004/11/9	生谷 吉男	捻染標本		絹	ヌキ　絹	白地				先練りで砂組織中に太い糸を絡ませた紗を織り、それに張り加工して広げ捺染している	おそらくスクリーンではないか													
0012-02-005-03	2004/10/26	生谷 吉男	捻染　標本	作蚕糸の平織り	絹　作蚕	ヌキ　絹　作蚕	5色の捺染							幾何模様	裂	服地、壁紙						裂			
0012-02-006-03	2004/10/26	生谷 吉男	捻染　標本		絹	ヌキ　絹　細い強撚糸	10色の捺染				薄地の縦織で捺染5cm間に11本の打ち込みで織られ、緯糸が細く、密度は低いために薄地で透けている。	後練りと判断する。精練後張り加工して広げ捺染していると考える。　スクリーン捺染と推定		花模様	裂	服地、壁紙						裂			
0012-04-002-01	2004/12/14	生谷 吉男	捻染　標本		サク蚕絹	ヌキ　サク蚕絹	5色の捺染				サク蚕糸の合わせ糸での平織り	大判のスクリーン捺染と推察される		ベズリー模様	裂地	服地、壁紙、スカーフ						裂地			
0012-04-004-01	2004/12/14	生谷 吉男	捻染　標本	片撚りで平織りに織られた生地	絹	ヌキ　絹	4色の捺染				粗い平織り、片撚り	スクリーン捺染に推定		花、ベズリー柄	裂地	壁紙、						裂地			
0012-04-004-03	2004/12/14	生谷 吉男	捻染　標本	細ニットで網状の隙間の大きい物を編成している	絹	ヌキ	4の捺染				ニットで網状に編成されている　5ホール/1cm	スクリーンと思われるが斜めに見えど模様が見られる。全体にこげ茶に染め、着色捺ではないかと考える。生地の一部の無状部分	は地色になっており、捺染による着色ではないと見られる。	花柄	裂地	壁紙、						裂地			
0012-04-005-02	2005/1/11	生谷 吉男	捻染　標本		絹	ヌキ　絹	6色の経糸捺染			カーキー色	経糸を捻糸約5組（糸で形魔されて測定不能）分浮き上がり。	緯糸1本で織た朱子織物で朱子に使われている経糸に	模様を経糸捺染したものと考えられる。	花を中心とした幾何模様柄	裂地	壁紙、その他						裂地			
0012-04-010-01	2005/1/11	生谷 吉男	捻染　標本	比較的薄地	絹	ヌキ　絹	白防染に淡色のグリーン地色			カーキー色	薄地の朱子織物	地染めに抜染を考えられる。		5.5mmの間隔で格子状に1mmの白点、一部で大小6個の円	裂地	壁紙、その他						裂地			
0012-04-014-01	2005/1/11	生谷 吉男	捻染　標本	極薄地　生地幅155cm	絹	ヌキ　絹	薄茶地色に35cm幅の模様				薄地の5mm間22本の地に朱子地で織い取りしており。裏の浮き糸はカット されている。	捺染によるもので今なら着色抜染であるが当時の状況はわからない。		花柄	裂地	壁紙、その他						裂地			
0012-04-026-05	2005/1/11	生谷 吉男	捻染　標本		絹	ヌキ　絹	クリーム地色				絹の平織り	6		幾何模様柄	裂地	壁紙、その他						裂地			
0012-04-027-02	2005/1/11	生谷 吉男	捻染　標本	撚りの掛かった経糸1本と2本	絹	ヌキ　絹	丸い部分だけが捺染			カーキー色	平織りをベースに、部分的に緯糸を数本浮き織り、捺染部分には緯い取りがないのが特徴であ	型染め		花を中心とした幾何模様柄	裂地	壁紙、その他						裂地			
0012-04-030-05	2004/12/14	生谷 吉男	捻染　標本	平織り	絹	ヌキ　絹	2色の捺染				平織り	不明　おそらくローラー捺染		幾何柄	裂地	壁紙、						裂地			
0012-3-02-001	2004/11/29	切畑 健	捻染標本色染第12号 四之内[参]	タテ絹　ヌキ本絹	細く無撚絹	ヌキ2撚7本を1越とする一本緯入 2撚1本に撚モール糸一本緯B	白地変わり織地		白	2種（下記）	白地変わり織地、ヌキ2撚り1本A手一越とする異色に銀うメを巻きつけた経を交互に織った生地	捺染	凝った織地に小文様の捺染	織役に小花等、赤花に黒縁輪郭の葉を添える モエギ	長方形　12.7×8.2（フチ中毛）	不明　服地か	紙札記「明.43.2購入(外国)」特記のある部分地に注目する。7本1越とした太いヌキ（本緯）とモール糸とした黄と銀（黒変）巻糸（本緯）3越をつづけ交互としたもの。その大ぬきの部分では、タテ糸の光沢が光沢が効果的である。またモール糸も黄と黒の不思議な色彩にチラチラと光が加わっているのが、極めて繊細な面白さもしめている。その細やかな面白さを生かす捺染模様も特色がある。黒細線、赤線、ミドリなどによって、10又は85の花模様が斜（互の目）に並んでいる。								
0012-3-03-002	2004/11/29	切畑 健	捻染標本色染第12号 四之内[参]	絹	無撚	無撚			白・黒	白	平織地で並木式で、織地で1単位として、白ヌキ白タテで平のところと白タテ3本が経浮していることがある。その中に、クロ行3本を白タテ3本おきにのせている。組織にしていない。	捺染　紫の横手楕円を斜並べ					紙札記「明.43.2購入(外国)」生地の変わり織地は白・黒の小石畳を織り表し、その上に紫の楕円を斜に並べて織りと染めの双方の特色が生かされてこの生地が出来ているのである。	この一連のものには、多様な捺染模様が見られるがその下地の裂にもいろいろな工夫がほどこされている。							
0012-3-05-002	2004/11/29	切畑 健	捻染標本色染第12号 四之内[参]												長方形	不明　服地か	紙札記「明43.2購入（外国）」								
0012-3-05-003	2004/11/29	切畑 健	捻染標本色染第12号 四之内[参]	絹・木綿	s撚	平糸	金茶地（後加工）白地に織る		淡茶（後加工で染織）	金茶（後加工で染織）	基本は5枚潰子で表はヌキ潰子。銀モール糸を8越で浮かして水玉をあらわし斜にならべる	捺染		チューリップと四弁花並べ	長方形10.4×8.7（フチ中毛）	不明　服地か	紙札記「明.43.2購入（外国）」木綿と絹に銀モール糸を織り入れた特色のある記事に小文様がら重い感じの文様としている。現状では銀モール は、それほど目立たないが、これは、生地の感触上の特色が生きるのである。	金茶地に小型文様が黒輪郭がしっかりしていて、この厚みの感じられる風合いの生地と調和している。花の白地の部分にモール糸が効果的である。							
0018-01-001-01	2005/5/24	生谷 吉男	捻染裂地結	綾織	羊毛	羊毛	地色　白　桃　グレー、赤、オレンジなど				綾織のウール地に捺染	織緯な捺染柄でおそらくブロック捺染　顕微鏡観察で捺染部分は顔料捺染と推定される 捺染彫刻の精緻を極めたもので後加工で	シュライナー加工してある。捺染　8配色	ベズリーに花柄	裂地　10×20	服地、壁地		1910年購入				裂地　10×20			
0018-01-005-01	2005/5/24	生谷 吉男	捻染裂地結	羊毛　綾地			赤地				縞糸が太い綾織	捺染は機械捺染　と　推定	顔料赤の捺染	変形（ベズリーに花柄）花柄	裂地　10×20	服地　壁地						裂地　10×20			
0018-01-010-02	2005/5/24	生谷 吉男	捻染裂地結	羊毛			白　地色				粗い平織り　格子柄入り	機械捺染　2色　顔料		花ベズリー	裂地　11×11	服地　壁地						裂地　11×11			
0018-01-041-03	2005/5/24	生谷 吉男	捻染裂地結	羊毛　平織り			地色　黒　赤柄				平織り	捺染2色　顔料捺染	仕上げで斜めの回線をエンボッシング加工されている	幾何模様	裂地　10×11	服地　壁地						裂地　10×11			
0019-01-002-01	2006/9/26	生谷 吉男	捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿			紺色				紺色のパイル織物で地は未晒し木綿 、パイルは先染め絹	ローラー捺染で絹の抜絵剤を捺染して乾燥×後処理（熱処理）して絹を焼き抜きして水玉模様に加工したもの	裏面に裏糊加工がされている（毛抜け防止）	白抜き水玉模様	布サンプル　約70cm×100cm	服地						布サンプル　約70cm×100cm			
0019-01-005-01	2006/9/26	生谷 吉男	捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿			濃いグレー色　　3色捺染 淡色、濃い緑（緑絹）、中灰(水玉)				パイル織物　パイル、地とも木綿	全体を濃い青色に浸染し、ローラー捺染にて銀と水玉を捺染している。見る方向によって捺染模様が見難いことがある	裏面に裏糊加工がされている（毛抜け防止）	細い縦縞、水玉	布サンプル　約70cm×100cm	服地		染色では淡色の青色を浸染で染色しその上から細かい縦てスジ模様の捺染に加えて捺染で水玉の染色を行っていたものと推定される。				布サンプル　約70cm×100cm			
0019-01-006-01	2006/9/26	生谷 吉男	捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿			黒の浸染に銀色の捺染				パイル織物　パイル、地とも木綿	全体を黒色に浸染し、ローラー捺染にて銀粉（鱗？）を捺染している。	裏面に裏糊加工がされている（毛抜け防止）	大小の点の集合でデザインしている	布サンプル　約70cm×100cm	服地						布サンプル　約70cm×100cm			
0019-01-007-01	2006/9/26		捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿	ベース　木綿・木綿	パイル　木綿	黄、濃い茶、ピンク、茶、赤、グリーンの捺染		黄、濃い茶、ピンク、茶、赤、グリーンの捺染		パイル織物　パイル、地とも木綿	ローラー捺染による直接捺染	裏面に裏糊加工がされている（毛抜け防止）	ベスリー柄が縞状になっている。	布サンプル　約70cm×100cm	服地						布サンプル　約70cm×100cm			
0019-01-008-01	2006/9/26	生谷 吉男	捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿			地色　赤　白、黒				パイル織物	ローラー捺染による直接捺染		白水玉の中に黒の玉があり、これが全体にある。	布サンプル　約70cm×100cm	服地						布サンプル　約70cm×100cm			
0019-01-011-01	2006/9/26	生谷 吉男	捻染　標本　パイル織物	ベース　木綿・木綿			地色　赤　赤みの茶、黒				パイル織物で先染めの縞の経糸にて縞を表し、製織後にパイルを切っている。	毛羽が立ったものをエンボッシングカレンダーにて経緯でも間隔に一部編を太くした型ロールでパイルを押し圧にて部分的に縞ちし	て凹凸を作り、表面効果を得ている。	縞縞	布サンプル　約70cm×100cm	服地						布サンプル　約70cm×100cm			
0019-02-002-01	2006/10/3	生谷 吉男	捻染　標本	絹	絹	絹	白　変色してグリーム色				朱子地の地模様	「地模様にブロック捺染又は手描き（地紋起こ　プラズボ小し）	大きい地紋にしており、精合させが上に出来ている。	花柄　地紋が花柄でそれにクリーム色の捺染	裂地　60cm×95cm	服地、カーテン						裂地　60cm×95cm			
0019-02-003-01	2006/10/3	生谷 吉男	捻染　標本	絹	絹	絹	茶色地色、緋（赤、グリーン、黄）				経糸を黒地色の緋とし、それに赤色の縞糸を織り込み紋織り手法にて縞糸を発現させてと模様としている。	緯方向中央の折れで左右対称に模様が配置され、それぞれが左右対称の左右対称の紋紙となっているのかいたい緯部分がとれており。	対称部分の模様の違和感を緩和している。	花柄　緋模様、縞糸の赤糸で縞り模様	裂地70cm×95cm	服地、壁紙						裂地70cm×95cm			
0019-02-004-01	2006/10/3	生谷 吉男	捻染　標本	絹	絹	絹	それぞれ先染め		茶色	〆　赤紫、茶色が交互織り込み	少々細い縞糸が織られ光沢が良い織物となっている	生地を緯方向に二つに折り、ペーパーカレンダー加工している。裏面の糸目が揃平と成っている。		無地　モアレ模様入り　表面にフリーハンドで書いたような赤紫ブリーン色の模様あり。	裂地70cm×95cm	服地、壁紙	二つ重ねで強圧されたために重ね部分にモアレー柄が対称位置に出現している。				裂地70cm×95cm			
0019-02-030-01	2006/10/10	生谷 吉男	捻染　標本	絹	細い絹	絹	赤、淡赤、淡緑、紫、淡紫、黒					細デニールの経糸、太い緯糸の平織	ローラー捺染。	地は黒	絣様の模様に花柄、レース柄	裂地59cm×100cm	裏面への浸透良好					絣様の模様に花柄、レース柄			
0019-03-009-01	2006/10/17	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	絹	絹	絹	白地　黄変している				軽目の生地。　五枚繻子	ローラー捺染	0	花柄	裂地標本　60×90 cm	服地	0					裂地標本　60×90 cm			
0019-03-011-01	2006/10/17	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	黒地色				木綿糸による縞糸方向の4本繻子（確認していません）	ローラー捺染で抜染によるものと推定する	捺染部分の裏は未抜染の黒色が残留している	変形花柄	裂地標本　72×100 cm	服地	ペーパーカレンダー加工で表面平滑、艶出しされている					裂地標本　72×100 cm			
0019-03-017-01	2006/10/17	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	紺色無地				木綿糸による平織り	浸染加工後ホンボッシングカレンダーによる表面縞加工機模を施してある。表面のみ	0	幾何模様の光沢変化模様	裂地標本　96×100 cm	服地						裂地標本　96×100 cm			
0019-03-024-01	2006/10/17	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	絹	絹	絹	黄土色の地色				軽目織物で平織り地に浮出し地紋がある。	ローラー捺染で絣用の模様を捺染し、その後重ねてベズリー柄を重ねて捺染をしている。	0	花柄による絣模様に黒線のみのベズリー模様を重ね染め	裂地標本　58×95 cm	服地	0					裂地標本　58×95 cm			
0019-04-008-01	2006/10/24	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	麻と絹	生糸（地経糸）、練り絹（緯子経）	木綿	4色捺染				縞糸に麻糸を使い全体の地に部分には絹の生糸使って軽目の透けた織物で経に練る緯で縞状に織子織り部分がある。緯子部分10cm の織り返して5mm緯子、地部分10mm、25mmの緯子、10mmの地、8mmの緯子、45mmの地の繰り返しとなっている。	ローラー捺染で染色されているが麻には発色が悪く、緯子部分の発色が良い	0	小さい花柄	裂地標本　51×101 cm	服地	0					裂地標本　51×101 cm			
0019-04-009-01	2006/10/24	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	4色捺染　緑、青、淡青、ピンク				経糸に太い縞糸を使い縞糸に細い糸で縞糸織がりが縦と同じ横に織られている。	ローラー捺染で染色されている。、仕上げでは裏面に裏糊加工（？）され、硬く仕上げっており、両面に模様のエンボス加工がされいる。	0	小さい花柄	裂地標本　90×103 cm	壁紙用						裂地標本　90×103 cm			
0019-05-003-01	2006/10/24	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	表面　白、黒顔料捺染				厚手の木綿縞繻子織り	表面にはしろ、黒色顔料による捺染、裏面は黒灯茶色の顔料を全面にしこいている。表面地入りがグレーに見えた印染色か、裏面の透過による色のうの不明	表面の光沢がみられカレンダー仕上がしてある。	小さい花柄	裂地標本　99×103 cm	壁紙用	0					裂地標本　99×103 cm			
0019-05-005-01	2006/10/24	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	表面　白顔料捺染				厚手の木綿縞繻子織り	まず、全体を薄ブルーに浸染し、表面には白色顔料で捺染、裏面にはローラーまたは他の機械で顔料によるこざき染めしてある。	0	幾何模様	裂地標本　100×97 cm	壁紙用	0					裂地標本　100×97 cm			
0019-06-005-01	2006/10/31	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	絹/木綿	絹	木綿	地色　白				細かい地模様があり、経糸を浮かして模様としている。	縞の模様模様の捺染柄で花柄を表現している。熱性染料を主用していると見られ経糸の絹の発色がよく、緯糸の木綿には発色が悪くなっている。	しかし、絹による発色が良いために美しい捺染柄が表現できている。	花柄	裂地標本　100×50 cm	壁紙or 服地	0					裂地標本　100×50 cm			
0019-07-001-01	2006/10/31	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	地色　えび茶				木綿平織（金巾）	淡染でえび茶色に染色した金巾にローラー捺染で細かい花柄を抜染で柄付けした。細かい点状の模様からローラーの彫刻技術の高いことが同まれる	0	小さな花柄（1個　11mm　8個/20mm）	裂地標本　104×80 cm	壁紙用or 服地	0					裂地標本　104×80 cm			
0019-07-002-01	2006/10/31	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	地色　黄色味の濃いグレー				木綿平織に経縞模様入り　経縞には太い縞糸6本を織の1本としてある。この太糸3本の間に細い糸4本ひかり、三本の糸の間まりの太では2本の隣の細い糸があって縞となっている	ローラー捺染で白地と地模の濃いしごきを行っている。生地の地紋に入っている縞は、ごく平の染めにこく淡い縞となっているが効果は低い。	0	丸を使った幾何模様	裂地標本　97×77.5 cm	壁紙用or 服地	0					裂地標本　97×77.5 cm			
0019-07-003-01	2006/10/31	生谷 吉男	染色品標本（外国品）	木綿	木綿	木綿	地色　黒　　捺染部の丸　淡紫				木綿平織（金巾）	黒地に浸染してからローラー捺染にて水玉模様に着色抜染してある裏面に浸透ムラあり、我染と考える。	0	水玉模様	裂地標本　100×76.5 cm	服地	0					裂地標本　100×76.5 cm			
0019-08-005-01	2004/11/7	生谷 吉男	捻染　標本(本品は浸染による無地染)	絹/羊毛交織	絹、地経　絹	羊毛	赤色　無地				一重織りとなっている。上部の薄絹織りと絹地経と羊毛の縞糸で裏糊の生地が構成され、地経をジャガードにて模様を表現していると同時に生地のふくらみを生じるように工夫されている。	浸染により全体を染色しているがその際の表の絹地と羊毛の裏糸が収縮差を生じて生地にふくらみを発生させている。	おそらく染色後に裏の羊毛地に起毛加工してふくらみを増長させてある。	横方向に不規則な紋状ふくらみの連続	裂地　118×92 cm	服地	0					裂地　118×92　cm			
0023-01-001-01	2005/6/14	生谷 吉男	染織整理　標本	絹	絹	絹	薄いベージュ　浸染				8枚朱子は上の飛び数の多い朱子で構成されている。破綻試験が出来ないので飛び数が判然としない。表面光沢が強い	無地浸染である。		花模様	花柄	おそらく装飾布　壁紙ほか	広く平面状に押し圧して表面光沢の差異をより顕著に表している。	朱子の光沢とエンボス加工の組み合わせが特徴				花柄			
0023-01-001-02	2005/11/8	生谷 吉男	染色整理標本帖	絹	絹	絹	白　　経時変化でクリーム色				経数の多い朱子地	生地と後加工の組み合わせの妙。	コンボッシングカレンダーにて模様を表現	花柄　地に太い線柄	16.5×20.4cm	礼服、カーテン	型押しによる模様のみ	本標本中には同様の加工布が多く収録されている。				16.5×20.4cm			
0023-01-003-01	2005/6/14	生谷 吉男	染色整理標本	レーヨン　二重経	レーヨン、木綿	木綿	8色の経緯		地経　白　パイル緯	白	パイル経糸に地とからる縞織物で構成してある。	パイル立てを花柄の経糸捺染したものを織り込み製織後枝、葉の部分を切り、毛羽立てでロールにて圧迫して毛羽を寝かしてある。	破綻や見本帳部付のために裏面からの観察が出来ないためパイル部分の生成方法が判定できない。	花模様の緯、葉部分はパイル経を切りパイルを立てている。	裂地　25×26	服地、壁掛け地、その他装飾地	0	おそらくローラー捺染				裂地　25×26			
0023-01-004-01	2005/6/28	生谷 吉男	染色整理標本帖	パイル織物	パイル　レーヨン		パイル　グレー色				本綿先染め基布にレーヨンパイル織物	先染の製品でパイル表面に圧拍加工してランダムな光沢を出している	[illegible]圧力を掛けることで表面を変形させたものと推	表面変形加工にてランダムな模様発現	裂地　9×110	多用途	0	加工方法については上記の方法が戦前に使われていた。				裂地　9×110			
0023-01-006-01	2005/6/28	生谷 吉男	染色整理標本帖	木綿　パイル織物			茶色　に　手描き染め				別玲	花柄を手描きを染めている。機模の輪郭を絞りものでやパイルを焼き切るの薬品をつけてパイルのみを除去している・	0	花柄	裂地　31×44	試験染め片	0					裂地　31×44			おそらく試験染め品
0023-01-008-01	2005/6/28	生谷 吉男	染色整理標本帖	パイル織物			10色のプリント					10色の型染め		木槽で遊ぶ魚	裂地　35×44	おそらく試験地						裂地　35×44			おそらく試験染め品
0023-01-009-01	2005/6/28	生谷 吉男	染色整理標本帖	木綿	木綿	木綿	浸染無地染め				綾織	浸染	縒り仕上げのために綴付けされている　その上にカレンダー仕上げされている		裂地　44×40							裂地　44×40			おそらく試験染め品
0023-01-011-02	2005/6/28	生谷 吉男	染色整理標本帖	木綿				茶の濃淡			木綿織物の型染め	顔料捺染で裏が見えないのであるがおそらく両面ローラー捺染機による捺染	生地はカレンダー加工で表面光沢がだされている	各種幾何模様、花模様	5×4　裂地					5×4　裂地	5×4　裂地		

0024-01-001-02	2005/7/5	生谷 吉男	捺染標本帖	不明　平織り			黒、グリーン	薄緑地に2色の捺染			平織りで縫糸が2越ごとに隙間がある	機械捺染orブロック捺染　顔料による捺染		花柄　繊細な線と点が表現されている		13．5×33　裂地	壁紙！	鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年				13．5×33　裂地	13．5×33　裂地		
0024-01-002-02	2005/7/5	生谷 吉男	捺染標本帖	不明　平織り		青濃淡2色、こげ茶2色、赤、黒	白地に6色の捺染				平織り	ローター捺染orブロック捺染　顔料による捺染	繊細な捺染表現	ペズリー幾何模様	13．5×33　裂地	壁紙！	鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年				13．5×33　裂地	13．5×33　裂地		
0024-01-011-09	2005/7/5	生谷 吉男	捺染標本帖	不明　平織り	絹	太い木綿糸	白地に黒色の線				粗い朱子織で縫糸が太く露出している	ローター捺染　顔料による捺染		幾何模様	2.5×7.7　裂地	壁紙！		11,12ページに同種の物が添付されている				2.5×7.7　裂地	2.5×7.7　裂地		鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年
0024-01-015-06	2005/7/5	生谷 吉男	捺染標本帖	平織り	木綿	木綿	白地に黒色の線				平織り	ローター捺染、顔料による捺染	繊細な捺染表現	格子状幾何模様	2.5×7.7　裂地	壁紙！　糊付け加工　硬仕上げ		鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年				2.5×7.7　裂地	2.5×7.7　裂地		鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年
0024-01-019-05	2005/7/5	生谷 吉男	捺染標本帖	平織り	木綿	木綿	白地に赤色の捺染				平織り	顔料による捺染　おそらくローター捺染	繊細な捺染表現、1900年当時中国風図柄が流行	シノワズリー柄　（人物柄）中国風	5.5×10　裂地	壁紙！	本標本は中国風に日本人が描かれている	15から28ページに同種の捺染物（図柄違い）が添付				5.5×10　裂地	5.5×10　裂地		鶴巻鶴一先生寄贈　明治43年
0024-01-029-03	2005/7/12	生谷 吉男	捺染　標本	木綿　5枚朱子	木綿	木綿	白地　青色捺染				経糸が太く多い朱子	ローター捺染　色料　顔料			裂地　10×31．5	服地						裂地　10×31．5	裂地　10×31．5		本ページには捺染品3点
0024-01-039-01	2005/7/12	生谷 吉男	捺染　標本	木綿　平織	木綿	木綿	白地　青色、赤色捺染				金巾	ローター捺染　色料　顔料	アール文デー時の東洋趣味から中国風がはやり、シノワズリーと称したものである	シノワズリー柄	裂地　50×21．5	服地		添付伝票によれば鶴巻鶴一先生より明治36年に寄贈された				裂地　50×21．5	裂地　50×21．5		24－19－5と同じものの大きい切れ
0024-01-040-01	2005/7/12	生谷 吉男	捺染　標本	木綿　厚手平織	木綿	木綿	紺色地に白柄入り	白色捺染			厚手平織り	ローター捺染　白顔料入りの抜染	または白顔料入りの防染　のいずれか	ストライプ柄（縞柄）	裂地　26×31．5	服地	添付資料にIndigo pureとあり、藍染による地染めと推定	添付伝票によれば鶴巻鶴一先生より明治36年に寄贈された				裂地　26×31．5	裂地　26×31．5		BASF　hudwyshafen Rhein の記入あり
0024-01-047-01	2005/7/12	生谷 吉男	捺染　標本	木綿　厚手平織	木綿	木綿	紺色地に白柄入り	白色捺染			厚手平織り	ローター捺染　白顔料入りの抜染または白顔料入りの防染　のいずれか。添付ラベルに printed with starch thickening finished 防染	添付資料にIndigo pure(BASF)とあり、藍染による地染めと推定	ストライプ柄（縞柄）	裂地　26×31．5	服地		添付伝票によれば鶴巻鶴一先生より明治36年に寄贈された				裂地　26×31．5	裂地　26×31．5		BASF　hudwyshafen Rhein の記入あり
0025-01-002-01	2005/7/12	生谷 吉男	染色見本帖	木綿平織				赤（深紅）			平織り	浸染　附標にAlizarine Yellow shade　Turkey Red(トルコ赤)とあり、チアロール染色にアリザリン染料を添加したものと推定		浸染無地	50×31　裂地	多用途		木綿にしては濃い赤色が染まっている				50×31　裂地	50×31　裂地		
0025-01-003-01	2005/7/12	生谷 吉男	染色見本帖	木綿　綿錦				赤（深紅）	赤	うすい赤	絹　先染め縞又は染め分け		綿糸を防染加工して織り上げその後浸染にて染め分ける	植物柄	30×34　裂地	多用途	糸での防染加工が当時存在してものと考えられるのでこの考えも捨てられない					30×34　裂地	30×34　裂地		木綿にしては濃い赤色が染まっている
0025-01-011-01	2005/7/12	生谷 吉男	染色見本帖	木綿　平織り			経糸、緯糸とも同色使い	赤、グリーン、ブルー、黒、白			平織　先染	塩基性染料－タンニン媒染（緑と青）、直接染料黒－顔色染法、赤－直接染料	染料処方は写真原簿に記載してある	チェック柄	裂地　24×51	服地						裂地　24×51	裂地　24×51		
0025-02-005-06	2005/7/19	生谷 吉男	染色　標本帖	絹、羊毛交織　平織り	絹	羊毛	他は地染めしている	白地　赤、黒　2色の捺染			縫糸　羊毛　本数の少ない緯糸で構成されている。従って要綱が表面に多く出ており、経糸本数が少ないために強度が低い	ローター捺染で微小な点がさきれいに捺染されている。	顔料捺染	幾何模様　繊細な点が特徴	裂地　10×5	服地、壁掛け地	本ページ（1～8）は同じ生地に同柄配色違いの捺染					裂地　10×5	裂地　10×5		非常に繊細な捺染表現
0025-02-018-08	2005/7/19	川口 浩	染色　標本帖	羊毛　平織り	羊毛	羊毛		白地			平織り組織の中に模紗組織を配す		白無地の中に模紗組織を配し霞模様の外観を狙っている。	模紗の無地	裂地　10×5	服地、						裂地　10×5	裂地　10×5		非常に繊細な捺染表現
0025-02-026-07	2005/7/19	川口 浩	染色　標本帖	絹	絹	絹	他は黒地と白地が混在している	黒無地			1/2 綾　（添付ラベルにSATINとある）	浸染		無地	裂地　10×5	服地、		P26～34　までサテン、タフタ、その他の無地生地				裂地　10×5	裂地　10×5		
0025-03-004-01	2005/7/19	生谷 吉男	染色　標本帖	羊毛	羊毛	羊毛		赤地			毛氈様のもの、生地を起毛して縮絨し、プレス加工したもの			無地	裂地　27．5×23 3　厚さ　5mmの厚地	服地、		生地見本とみられる				裂地　27．5×23 3　厚さ　5mmの厚地	裂地　27．5×23 3　厚さ　5mmの厚地		
0025-03-011-01	2005/7/26	生谷 吉男	染色見本帖	羊毛	羊毛	羊毛		淡青色　無地浸染			平織り　糸の撚りは少々甘い、生地表面に毛羽あり。	浸染			29×19cm	服地		表面加工は見られない				29×19cm	29×19cm		
0025-03-015-02	2005/7/26	生谷 吉男	染色見本帖	羊毛	羊毛	羊毛		赤色　無地浸染			平織り　糸の撚りは少々甘い、表面に起毛加工でも羽立せておりお表面から織り目が見えない。	浸染	おそらく起毛、縮絨、プレスの工程を経ているものと考える。	無地	19×11cm	服地		その他工程、例えば毛羽のガス焼き、がされているものと推定				19×11cm	19×11cm		表面毛羽はお互いに絡んでおり、そのための加工があったのではないか。縮絨加工でなったのかもしれない
0025-03-024-01	2005/7/19	生谷 吉男	染色　標本帖	羊毛	羊毛	羊毛		茶地			平織り標のもの、生地を少し起毛して縮絨し、プレス加工したもの	浸染、後染		無地	裂地　27．5×23 3　厚さ　1mmの厚地	服地、		他の生地見本がいろいろの厚さや生地を集合させたもの				裂地　27．5×23 3　厚さ　1mmの厚地	裂地　27．5×23 3　厚さ　1mmの厚地		
0025-03-032-01	2005/7/19	生谷 吉男	染色　標本帖	羊毛				白色繊維と黒色繊維の混繊糸（霜降り糸）			霜降り繊維糸を混合してフェルト加工して平板な布にかこうされている	先染め		無地	裂地　14×13 厚さ　2mmの厚地	服地、その他	生地表面の羊毛繊維がよく絡み合っており、毛羽立ちしてはおらず表面の平滑性が感じられる					裂地　14×13 厚さ　2mmの厚地	裂地　14×13 厚さ　2mmの厚地		
0025-1-03-001	2005/1/11	藤井 健三			毛 S/2-Z 毛 S/2-Z 24/cm	毛 S/2/Z 毛 Z 26/cm			赤・白　交代地経	赤・黄土　交代地経	二重綾子織（経・緯）						平地、経4枚綾・緯5枚濃子地綾、紋架門不明、紋丈25.5cm、二種の地緯と二種の地経を交代させて用い、赤×赤、白×赤、赤×黄土、白×黄土、の四種の地合と白×黄土、赤×黄土；白×赤、及びその組織違いで地紋6種を作り出している。							付札、表）abzarine Red　裏））Bootesal Aniline sodo －Fabrik handur Jsfober a Rein
0025-1-03-001	2005/1/11	藤井 健三			毛、Z　44cm	毛、Z 30/cm			赤	ピンク	紋紗子織			芥子花	ヨコ×タテ30.4cm ×30cm		経6枚朱子地紋　紋か間18．6cm　紋丈29.2cm							
0025-1-04-001	2005/1/11	藤井 健三			地・麻 Z	地・麻 Z 綿毛 S/2Z					錦織			菊花	タテ×ヨコ 51.9×14.7cm		平地、緯浮地紋、綾織（全経）緯8枚朱子文　錦、紋架門、紋丈不明							
0025-1-05-001	2005/1/11	藤井 健三			毛、Z 32/cm	毛、Z 30/cm			赤	赤	紋紗子織			蕾薔文様	ヨコ×タテ30.1cm×38cm		経8枚朱子地、緯8枚朱子・綾（一）地紋　紋門18.7cm　紋丈28cm							付札、表）Tarkey Red alizaine blue shade 裏）Badisel　Aniline soda－Fabrik budurTshaber a/Rhein
0025-2-01-007	2005/2/7	藤井 健三			綿紡糸S/2-Z 58/cm	綿 甘S 32/cm			地：黒	地：紫・白				横縞に抽象柄	裂地　55mm×102mm（布目）	服地	地経・地緯による浮紋と綾地紋で表した							
0025-2-02-005	2005/2/7	藤井 健三			木綿 Z 28/cm	木綿 z/2甘S 26/cm			白	白	平織	銅版ローラプリント（ローラ経不明）	カレンダー仕上げ	小花柄	裂地　54mm(布目)×67mm	服地								
0025-2-03-001	2005/2/7	藤井 健三			綿紡糸 s/2-z 68/cm	綿 甘2 28/a			地：黒	地：赤・緑	経5枚濃子地、地経浮紋綾	科学染料染		斜十字柄	裂地54mm×101mm(布目)	服地	地緯による浮紋で表す　紋丈：46mm 紋カマ：不明	AN25－2－5－2と地緯糸違いの同織裂						
0025-2-05-007	2005/2/7	藤井 健三			綿 引揃え 46/cm	綿紡糸 z/2・S 40/cm			地：赤	地：赤	経5枚朱子地	銅版ローラプリント（ローラ経不明）		花文様幾物の柄	裂地63mm(布目)×88mm	服地	経糸2本を組み合して、扱う（やすら経）	AN.25－2－5－1,2,3,4,5.8は色違いの同染裂						
0025-2-07-006	2005/2/7	藤井 健三			綿s/2z 68/cm	綿　引揃え 28/cm			地：白	地：白、紫	経5枚濃子地.地緯浮地紋、綾	科学染料染		小花柄に縞	裂地103mm(布目)×55mm	服地	紋丈76mm 紋カマ：46mm	AN.25－2－5－10－6,7と同裂						
0025-2-22-006	2005/2/7	藤井 健三			綿s/2z 36/cm	レーヨン　引揃え 24/cm			地：白、ピンク	地：白	平地　地経浮地紋・地緯浮地紋　綾	科学染料染		チューリップ柄	裂地　178mm(布目)×38mm	服地	地紋カマ15mm　地紋丈：不明							
0035-01-001-01	2008/8/26	生谷 吉男	企画絵子（天鵞絨）慶長裂	絹	絹　平無地	絹　平無地		茶色地色			合わせ糸による縞子綾織で軽目なから緞密に織られている。	巧妙に、かつ緞密に絞られた鹿の子が格子状にあり、写真で示されてるように組曲形と組み合わせており、その間に印金が加工された。	印金部分は細く緞密に彫刻された型紙で接着剤が型置された逸品である。	絞りと印金	裂地標本　34×8.0 cm	不明		地染は植物染料と推察するが生地表面は顔料のように見える				裂地標本　34×8.0 cm	裂地標本　34×8.0 cm	裂地標本　34×8.0 cm	
0038-01-006-01	2005/8/2	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		グレー地色に糸目柄			壁糸ちりめん	糸目防染加工による模様表現にグレー引染　亀のちょうきゅうについては手描きによる（現在の無縫）、刺繍のあしらいあり	地色は墨による引染と見られる	亀の柄　糸目で亀の瀧を表現	裂地　38×30.5	友禅サンプル						裂地　38×30.5	裂地　38×30.5		
0038-01-015-01	2005/7/27	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		グレー地色に糸目柄			羽二重	糸目防染加工による模様表現にグレー引染　亀を表現、またかめの部分に刺し友禅（墨出		水辺の亀の柄　水は松葉の白抜き糸目	裂地　35×25	襦袢の裾模様柄						裂地　35×25	裂地　35×25		
0038-01-021-03	2005/7/28	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		黒色地色に小紋と花柄と金彩			3本絽	技法の推定　手描き技法で糸目、挿し友禅、伏せ、小紋白防染。		小紋柄の中に菊柄入り	裂地　21×23	夏物　生地のサンプルではないか	墨染め、水洗（または揉み）最後に金彩加工					裂地　21×23	裂地　21×23		夏物の友禅のテスト地ではないか
0038-01-022-05	2005/8/2	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		グレー地色　他に挿し色7色			羽二重	糸目一挿し—伏せ柄—地色引き染め—水洗い　一部金彩あり	糸目防染の太さが細く、繊細であり、簡単さでなく機技賜！	梅に手鞠柄	裂地　16×12.5	友禅柄のサンプルではないか	作品の色料には顔料が使用されている					裂地　16×12.5	裂地　16×12.5		
0039-01-003-01	2005/8/9	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		地色は黒。　模様に赤、青、グレー			軽目の二越縮緬(ふたこしちりめん)	白防染顔を型置きし（一部は手描き顔）刷毛にて挿し色、型防染法で伏せ顔置き、地色の墨、グレーぼかし（墨）		くもとりに草花のデザイン	裂地　32×15cm	著物、染色サンプル	色料は顔料					裂地　32×15cm	裂地　32×15cm		幕末から明治初期のものと推定
0039-01-007-02	2005/8/2	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	赤、ピンク、ブルー、茶、カーキー	多色の各種花の色			二越ちりめん	染料がメインにした型染め（写し友禅）地色は墨染め、青色のボカシである。赤、ピンク顔料が使われている。	染料は写し友禅、墨色は抜色の黒色のボカシ黒は墨染め、その他は顔料が使われている	各種花柄に幾何模様で赤とピンクが目立つ	裂地　12×27	友禅サンプル、子供著尺						裂地　12×27	裂地　12×27		
0039-01-011-01	2005/8/3	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	7～8色で模様	グレー地色に紫色霞のぼかし			二越ちりめん(強撚の為にしぼが高い)			七福神柄	裂地　40×31	友禅サンプル、男物襦袢	繊細な線が特徴					裂地　40×31	裂地　40×31		
0039-01-014-01	2005/8/9	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	表面　グレー　両面捺染	黄丹　茶			軽目の二越縮緬(ふたこしちりめん)		両面捺染作品	表面　花柄デザイン	裂地　15×28cm	友禅サンプル　襦袢地	表面　型による防染、挿し色　小紋捺染					裂地　15×28cm	裂地　15×28cm		
0039-01-018-01	2005/9/6	生谷 吉男	友禅染	二越縮緬	絹　合わせ糸	絹　合撚		型染め6色			二越縮緬　軽目	型紙捺染で塩基性染料ピンクを使って華やかな模様を表現、ボカシ4多用　（標本石）		花柄デザイン柄	28×29	服地						28×29	28×29		
0039-01-019-02	2005/9/6	生谷 吉男	友禅染	二越縮緬	絹　合わせ糸	絹　合撚	地色　藍色	型染め6色			二越縮緬　軽目	捺染で塩基性染料ピンクを使って華やかな模様を表現、白糸目に写し友禅		花柄デザイン柄	15.5×31.5	服地						15.5×31.5	15.5×31.5		
0039-01-022-02	2005/8/9	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹		地色は緑地色白糸目に色糸の筆様の花びら防染			軽目の横柳縮緬		糸目による防染柄、花びら部分は手描き糊の防染糊	草花のデザイン	裂地　20.5×28cm	服地、きもの	色料は顔料	39－1－38－2,39－1－45－2に同一にものがある。				裂地　20.5×28cm	裂地　20.5×28cm		幕末から明治初期のものと推定
0039-01-023-01	2005/8/9	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	白抜き糸目に墨による挿し	茶色の地色			軽目の二越縮緬(ふたこしちりめん)		糸目による防染柄、花びら部分は手描き糊（一部は手描き糊）刷毛による！）にて染色されている。　眉面部分には薄茶の色が滲さい、墨で文字が書かれている	扇子と草花	裂地　36×30cm	友禅サンプル　襦袢地						裂地　36×30cm	裂地　36×30cm		
0039-01-027-02	2005/9/20	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	赤、ピンク、薄青	黒色の地色			軽目の二越縮緬(ふたこしちりめん)		赤花柄をメインにした型染め（写し友禅）地色は墨染め、青色のボカシである。赤、ピンク顔料が使われている。	草花	裂地　127.5×17cm	友禅サンプル　襦袢地	型置き、防染糊、引き染め（又はしごき染め）の工程					裂地　127.5×17cm	裂地　127.5×17cm		
0039-01-032-01	2005/9/20	生谷 吉男	友禅染標本	絹	絹	絹	赤、緑、茶、ダーク紫、黒	地色は淡色の黄色のボカシ			二越縮緬(ふたこしちりめん)		赤花柄をメインにした型染め（写し友禅）地色は墨染め、その他は顔料が使われている	風景の連続模様　3枚中の左側	裂地　50×17cm	友禅サンプル　着尺or襦袢	通常の写し友禅　型置き、防染糊、引き染め（又はしごき染め）の工程					裂地　50×17cm	裂地　50×17cm		
0040-01-001-02	2004/7/12	生谷 吉男	人造絹糸・絹糸布類	絹 軽目一越縮緬			地色　赤　白抜き模様				軽目の一越縮緬	手による糊糸目防染、地色はおそらく浸染、引染による。白防染後、糊を剥がし、（手捻みで？）白部分の広いところに色と墨で模様を描く、繊細な糸目防染が特徴である		花柄	裂地	襦袢地		本品は右側							
0040-01-002-02	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目一越縮緬			地色　赤				軽目の一越縮緬	板締め防染による浸染	板締の防染には、糸の方向に沿って、細い線状のみがあり匹田内部に染料液が入るようになっていない。　手捻みによる糊落としではない。	花柄	裂地	襦袢地		防染部分は少々黄褐変している							
0040-01-005-02	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目　壁縮緬			地色　赤　模様防染部分に黄色の部分で防染糊の下は美しい黄色を残しており、先に黄色を地染めしてから糸目防染している				軽目の壁縮緬　芯糸は太く撚りにより縮緬状に縮んでいる	糸目防染により文様を表現　地色は浸染又は引染　経糸が濃く、緯糸が少々淡い。表面のシボの頭が濃くなっているのでの引染と思う	防染糊が多く残っていて、その糊の表面に染料が多く付いている。裏面に防染糊が浸透していない。　手捻みによる糊落としではない。黄色浸染――色目糊置――赤地引染	草花柄	裂地	襦袢地		防染部分は少々黄褐変している							
0040-01-008-02	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目　一越縮緬			濃い赤エンジ地色　　白防染の中に手描模様　絞り技法を併用				軽目の一越縮緬	糸目防染と絞り染めの併用により文様を表現	白縞部分に後で糸目糊置き、色挿し、または先に糸目糊置き色挿し後地染をしていたかもしれない。白縞部分に糊様の付着物が多い。おそらく防染糊が残っているものと考えられる。（手捻みで除去）	花葉柄	裂地	襦袢地	糊防染と絞りの絞技を先に施し、その後浸染している。白縞部分に後で糸目糊置き、色挿し、または先に糸目糊置き色挿し後地染をしていたかもしれない。白縞部分に糊様の付着物が多い。おそらく防染糊が残っているものと考えられる。（手捻みで除去）	防染部分は少々黄褐変している						
0040-01-019-01	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目　一越縮緬			赤　、青				軽目の一越縮緬	非常に小さい匹田の絞り目を並べている	赤と青との染め分け線に沿って生地に針の目が残っている糸で縫って結り、極又は竹の皮で防染して浸染している防染部分は少々黄褐変している。	匹田にて表現　絞りにて地色を赤と青を染め分け	裂地	服地又は襦袢地	赤と青との染め分け線に沿って生地に針の目が残っている糸で縫って結り、極又は竹の皮で防染して浸染している	防染部分は少々黄褐変している。生地表面の縫糸凸部が汚れている						
0040-01-019-02	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目　一越縮緬			赤　、青				軽目の一越縮緬	非常に小さい匹田の絞り目を並べている	赤と青との染め分け線に沿って生地に針の目が残っている糸で縫って結り、極又は竹の皮で防染して浸染している	匹田にて花柄を表現　絞りにて地色を赤と青を染め分け	裂地	服地又は襦袢地		写真の発色が悪く、上は右の赤色である。							防染部分は少々黄褐変している
0040-01-020-01	2008/9/16	生谷 吉男	絞 板締　友禅　標本	絹							軽目の一越縮緬	匹田絞りを使った模様、赤浸染		匹田模様	裂地標本　30×28 cm	襦袢、						裂地標本　30×28 cm	裂地標本　30×28 cm		
0040-01-022-02	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目　一越縮緬			赤　地色				軽目の一越縮緬	長方形の大小各種の大きさで糸入れしてから絞括している。		大小各種の絞り模様の長方形が整列している	裂地	襦袢地	長方形に縫って締め、それに糸をぐるぐると巻き付けてある。巻いた糸の線が染め出されている	防染部分は少々黄褐変している						
0040-01-027-03	2004/8/3	生谷 吉男	絞、板締友禅見本	絹	絹　無撚	絹　強撚	茶、ブルーの小紋	ダークグリーン色（中色）			一越縮緬	地染めしてから2色の小紋柄を顔料捺染	型紙は繊細に作られているが型置きで色線の太細が出ている。色部分に多くの色線が残っている事から顔料捺染と推定される。	松柄、小紋	裂地							裂地	裂地		
0040-01-028-03	2004/8/3	生谷 吉男	絞、板締友禅見本	絹	絹　無撚	絹　強撚	赤、青、黄、グレー	ダークグリーン色（中色）地色			一越縮緬	写し友禅と推察される。挿し色は顔料、地色は化学染料	初期の写し友禅と推察される	花柄	裂地							裂地	裂地		
0040-01-029-02	2004/8/3	生谷 吉男	絞、板締友禅見本	絹	絹　無撚	絹　強撚		緋地色			一越縮緬	白点による波形捺染（白防染）－淡いグレーなめ	手描による草模様の防染　地色は藍色の引染	草花と波形　（白点状で表現）	裂地							裂地	裂地		本品は中央
0040-01-033-01	2004/8/4	生谷 吉男	絞、板締友禅見本	絹	絹　無撚	絹　強撚	地色は淡グレー、模様は淡グレー、茶色				一越縮緬	棚防染の型置き、色分けしての色挿し　棚防染と色挿し		草花、雪結晶など模段状に5センチ幅での繰り返し	裂地	服地									
0040-01-036-04	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目一越縮緬			地色　白、赤				軽目の一越縮緬	板締の防染による浸染　大型柄		幾何柄	裂地	襦袢地		防染部分は少々黄褐変している							
0040-01-036-04	2004/7/27	生谷 吉男	絞、板締友禅染標本	絹 軽目一越縮緬			地色　白、赤				軽目の一越縮緬、緯糸太く無撚2本、細い強撚を交互に入れている	生地を畳んで板締め防染による浸染　赤色大型柄		幾何柄	裂地	襦袢地		防染部分は少々黄褐変している。本品は写真右側							
0043-01-001-01	2005/9/27	生谷 吉男	仏国捺染模様綿布衣服専用布	木綿　ホシルケット、他の資料とも未シルとは見られる			地色　白　、細かい花柄5色（ピンク、赤、茶、グレー、黄）				木綿、綾織	赤、黄には蛍光反応があり、塩基性染料の顔料のタンニン媒染と推定される。染色はロール捺染ではあるが黄色部分には圧迫された		1mm幅、9mm間隔の縫糸方向青縞の間に細かい花柄	裂地　15．6cm×10．5cm	服地		0043－1－1－1は表面にストライプの回凸を持つエンボス加工されている							
0043-01-001-03	2005/9/20	生谷 吉男	仏国捺染模様綿布衣服専用布	木綿			地色　紺色				綿平織	紺地色に白顔料と同時に白抜染！、		幾何柄、細く短い線が全体に散らばり、それに最大寸5.8mmの小さな円の集合によって白場の集合で模様表現している。	裂地	服地									
0043-01-001-05	2005/9/20	生谷 吉男	仏国捺染模様綿布衣服専用布	木綿			地色　赤				綿平織り	白抜染、（白場が美しい）、赤色捺染部分は蛍光反応強い。塩基性染料！顔料か！！綿糸、撚密なローラー捺染染め		花柄模様の幾何柄	裂地	服地									
0043-01-010-01	2005/9/27	生谷 吉男	仏国捺染模様綿布衣服専用布	木綿			地色　白　　柄部分　こげ茶、茶、グレーが分った絣、赤、黄、黒				木綿　軽めの平織（ローン）	機械捺染の繊細な柄　0.3mm前後の微細な点で模様を構成している部分もある。		ペズリー柄	裂地　12．7×16．3	服地									
0044-01-001-05	2005/9/26	生谷 吉男	仏国捺染模様綿布衣服専用布	木綿　未シル	木綿	木綿		白地捺染ブルー1色			平織	ローター捺染で幾何模様以外のストライプ柄　模様部分は点の集合で	線を表現している。	幾何模様、ストライプ柄	裂地　7．6cm×11．2cm	柄から見て　シャツ地　44編は紋著、下着となっている。						裂地　7．6cm×11．2cm	裂地　7．6cm×11．2cm		44編は線の集合を表現した図柄ばかりである。他は全部同じ傾向のもの
0045-01-001-07	2005/10/4	生谷 吉男	英国捺染模様綿布	木綿			地色　黒　花模様は赤、　細かい水玉の白				綿平織	地染めしてから白抜染してある。赤部分には白顔料模のものが多く付いており、白部分は裏面まで届いていない。赤部分は白部分の上にオーバーされており、顔料が捺染されている。		全面細かい水玉柄に赤花柄がかぶり、白抜染にオーバーにより白部分に赤色花柄を捺染している。	裂地　5.5cm×11.2cm	服地									
0045-01-004-04	2005/9/27	生谷 吉男	英国捺染模様綿布	木綿			地色　白　模様に青、緋				綿平織	白抜きの青色地捺染で花柄に緋色のオーバー捺染がされている。		幾何柄、白抜きの地捺染にオーバーにより緋色花柄	裂地　10.8cm×10.8cm	服地		45編は地捺染が多い。							
0046-01-002-06	2005/10/4	生谷 吉男	独逸捺染模様綿布	木綿			地色　白　5色				綿平織	ローター捺染による　染料使い。		ペズリー	裂地　10cm×14.3cm	服地		45編は地捺染が多い。							
0047-01-003-06	2006/11/21		オーストリア国捺染模様綿布	木綿							服地		ローター捺染による直接捺染	2色捺染　白地色		幾何模様		織細な捺染であるが捺染のズレが見られる							
0047-01-006-04	2005/10/4	生谷 吉男	墨国捺染模様綿布	木綿			地色　白　5色　黒色糸目は顔料				綿平織	ローター捺染による　染料使い。		花柄	裂地　10.7×16.3cm	服地		織細な捺染であるが捺染のズレが見られる							
0048-01-003-07	2005/10/25		毛織捺染模様衣服地	羊毛							服地		織細な捺染がなされている。赤、黒色捺染共に発色がよい。	白地色　二色捺染（黒と赤）				ゴマ粒形状の細微点の集合による幾何模様							
0048-01-004-07	2005/11/1	生谷 吉男	毛織捺染模様衣服地	羊毛	羊毛	羊毛		白地色　五色捺染（青、黄、茶、グリーン、緋）　地色が経時変色			羊毛モスリンに捺染されている。	一部で織細な微細捺染がなされている。デザイン、技法の優れている作品である。特に型ロールの彫刻技能が優れていることを感じ	させられる。	ゴマ粒形状の細微点の集合による幾何模様に小さい模様	7．4×14cm	服地						7．4×14cm	7．4×14cm		
0048-01-008-04	2005/11/1	生谷 吉男	毛織捺染模様衣服地	羊毛	羊毛	羊毛		白地色　六色捺染（黒、ピンク、茶、緑、薄青、濃いピンク）白地色が経時変色しでクリーム			羊毛モスリンに捺染されている。	一部で織細な微細捺染がなされている。デザイン、技法の優れている作品である。特に型ロールの彫刻技能が優れていることを感じ	させられる。捺染には染料が使われ、ピンクの濃淡はローダミンの使用と推定される。	変形ペズリー花柄　模様の一部に織細な模様が彫刻されている	16．3×7．7cm	服地						16．3×7．7cm	16．3×7．7cm		44編は線の集合を表現した図柄ばかりである。他は全部同じ傾向の

0048-01-009-04	2005/11/1	生谷 吉男	毛織捺染模様衣服地	羊毛	羊毛	羊毛		白地色 六色捺染(黒、ピンク、茶、緑、薄青、濃いピンク)白地色が経時変色してクリーム			羊毛モスリンに捺染されている。	一部で繊細な微細捺染がなされている。デザイン、技法の優れている作品である。特に型ロールの彫刻技能が優れていることを感じ	させられる。捺染には染料が使われ、ピグメントの濃淡はローダミンの使用と推定される。	変形ペズリー花柄 模様の一部に繊細な模様が彫刻されている	16．3×7．7cm	服地						16．3×7．7cm	16．3×7．7cm		44編は縦の集合を表現した図柄は沿りである。他は全部同じ植崗のもの
0049-01-001-06	2005/10/25		捺染模様絹本	絹 合わせ糸							服地			直接捺染技法でおそらくローラー捺染	茶色 一色捺染	菱形														
0049-01-003-01	2005/10/25	生谷 吉男	捺染模様絹本	絹 合わせ糸	絹	絹		白色地色 六色捺染			平織りで経糸に沿って細いフィラメントが両サイドに入っている。	直接捺染技法でおそらくローラー捺染		幾何柄	13．2×24．8 裂地	服地	黒捺染際より染料の浸き出しがある。染料濃度が高いためではないか？						13．2×24．8 裂地	13．2×24．8 裂地		
0049-01-003-04	2005/10/25	生谷 吉男	捺染模様絹本	絹(さく蚕) 合わせ糸	さく蚕 絹	さく蚕 絹		白色地色 三色捺染			さく蚕糸で無撚りの合わせ糸を使った平織り	直接捺染技法でおそらくローラー捺染		幾何柄	9．3×15．3 裂地	服地		発色が低い(さく蚕糸の特性？)					9．3×15．3 裂地	9．3×15．3 裂地		
0049-01-008-01	2005/10/25	生谷 吉男	捺染模様絹本	絹糸	絹	絹		白色地色 五色捺染			軽目の二越縮緬	直接捺染技法でおそらくローラー捺染	捺染の型版が特に糸目がきれいでない	大判の花柄	50．3×10．3 裂地	スカーフ							50．3×10．3 裂地	50．3×10．3 裂地		
0049-01-012-02	2004/10/25	生谷 吉男	捺染模様絹本	絹 ビロード	絹			白地色 五色捺染			絹パイルのビロードに捺染したもの。	繊細な捺染がなされている	仕上げのカレンダーでパイルが押されている。	花柄幾何模様	15.7×15.5 cm	服地							15.7×15.5 cm	15.7×15.5 cm		
0050-01-005-01	2005/11/21	生谷 吉男	捺染模様本絹手巾	本絹 変わり織 表面加工なし			白地黒一色捺染地				本絹平織、 金巾	大判の型を使ったローラー捺染による直接捺染		幾何模様、細かい格子、荒、等の組み合わせ上えるスカーフ	裂地 37×35cm スカーフ1／4裂	スカーフ		大正3年 稲畑勝太郎より購入							
0050-01-018-01	2006/11/21	生谷 吉男	捺染模様本絹手巾	本絹 金巾				10色捺染			本絹金巾	グリーム色の地染めにローラー捺染、顔料による着色	ペーパーカレンダー仕上	スカーフ柄 花、孔雀の羽、格子などの組合わせ	スカーフ1／4 35×37cm	スカーフ							スカーフ1／4 35×37cm	スカーフ1／4 35×37cm		
0050-01-023-01	2006/11/21	生谷 吉男	捺染模様本絹手巾	本絹 金巾				3色捺染 地色黒ぼ茶			本絹金巾	地色、水玉共にローラー捺染、顔料による着色	仕上げとしてペーパーカレンダー処理され、表面が平滑になっている	スカーフ柄 配置 二重水玉大小	スカーフ1／4 35.5×36cm	スカーフ							スカーフ1／4 35.5×36cm	スカーフ1／4 35.5×36cm		
0051-01-007-01	2008/8/19	生谷 吉男	捺染模様家具装飾用布	本絹 厚手の絹布	本絹	本絹	1色捺染 赤色白抜き捺染	捺染布			細い経糸に太い緯糸を織り込んだ本絹生地を使用している。	1色白抜きの柄のローラー捺染によるものであるが裏面に赤色の無地ローラーで捺染されており、表と裏を2回に分けての両面捺染で	ある。色料は顔料である。	花の模様柄	裂地	カーテン、家具		大正3年1月購入 外国品					裂地	裂地		
0051-01-015-01	2008/8/19	生谷 吉男	捺染模様家具装飾用布	本絹 厚手の絹布	本絹	本絹	一色捺染	捺染布			細い経糸に太い緯糸を織り込んだ本絹生地を使用している。	青色一色のローラー捺染によるものであるが捺染部位の色料の糸内部への浸透が完全でないので捺染糊の浸透による表面上の浸	透でない両面捺染であると推定される。	花柄	裂地	カーテン、家具		大正3年1月購入 外国品					裂地	裂地		
0051-01-020-01	2008/8/19	生谷 吉男	捺染模様家具装飾用布	本絹 厚手の絹布	本絹	本絹	3色捺染 地色がグリーン	捺染布			細い経糸に太い緯糸を織り込んだ本絹生地を使用している。	3色のローラー捺染によるものであるが裏面に同柄がよく捺染されており、表裏柄にわずかなずれがみられることから両面捺染であると	推定される。色料は顔料である。	花の幾何模様柄	裂地	カーテン、家具		大正3年1月購入 外国品					裂地	裂地		
0052-01-002-01	2008/8/19	生谷 吉男	捺染模様毛織屏扉	羊毛 モスリン	羊毛	羊毛	9色捺染 黒オーバー捺染	捺染布 着色防染			羊毛の綾組織モスリン	ローラー捺染によるものであるが裏面に黒色で防染していないところがある)	表面に仕上げとしてカンダーによる光沢加工がされている。	花の模様柄	裂地	ショール		大正3年1月購入 外国品					裂地	裂地		
0052-01-014-01	2008/8/19	生谷 吉男	捺染模様毛織屏扉	羊毛 モスリン	羊毛	羊毛	6色捺染 黒オーバー捺染	捺染布 着色防染			羊毛の縮子組織モスリン	ローラー捺染によるものであるが裏面に黒色で防染していないところがある)	表面に仕上げとしてカンダーによる光沢加工がされている。	幾何模様柄	裂地	ショール		大正3年1月購入 外国品					裂地	裂地		
0055-01-001-03	2005/11/1	生谷 吉男	織フランネル更紗型	本絹 変わり織 表面加工なし			茶色で白抜き柄捺染地				本織の変わり織、織り方については標本データーの写真参照	織糸目模様の部分に緯糸が並列に並び織物効果捺染が融合して面白い。茶色は顔料の	緩い。	幾何模様、丸と織り糸目の組合せ	裂地 7.6×18.2	服地		大正3年 稲畑勝太郎より購入							
0055-01-004-05	2005/11/8	生谷 吉男	織フランネル更紗型	本絹 平織 起毛加工			淡いブルー色の斜め捺染地の上に紺色花柄捺染				本織の平織、捺染後に起毛加工	二色捺染で染料使い、 おそらくローラー捺染		斜め格子のバックに花柄	裂地 18.6×10.8 cm	服地									
0055-01-014-03	2005/11/8	生谷 吉男	織フランネル更紗型	本絹 平織 起毛加工			鮮やかな緑から白抜き赤色地捺染 黒の斑柄のオーバー捺染されている。				本織の平織、捺染後に起毛加工	二色捺染で染料使い、 おそらくローラー捺染		乱れた筆先の毛の軌跡を表現している	裂地 18.6×10.8 cm	服地									
0056-01-001-02	2008/8/5	生谷 吉男	白地並びに染色地綿布	本織	本織	本織		白	白糸	白糸	生織を精練漂白したもの。	縦糸にえい糸を12本を2cm間隔に置き模様に浮かす。2cmの	平地部分に緯糸を浮かして地模様を表現している。	経糸、緯糸を組織で浮かして地模様としている文様	裂地	服地、型染め下	仕上げにカレンダーを掛けて浮き模様を抑え、光沢を得ている。						裂地	裂地		
0056-01-001-04	2008/8/5	生谷 吉男	白地並びに染色地綿布	本織	本織	本織		白	白糸	白糸	生織を精練漂白したもの。	縦糸にえい糸を12本を2cm間隔に置き模様に浮かす。2cmの	平地部分に緯糸を浮かして地模様を表現している。	経糸、緯糸を組織で浮かして地模様としている文様	裂地	服地、型染め下	仕上げにカレンダーを掛けて浮き模様を抑え、光沢を得ている。						裂地	裂地		
0056-01-004-10	2008/8/5	生谷 吉男	白地並びに染色地綿布	本織	本織	本織		白	白糸	白糸	細番手の綿糸使いで太い糸を使って格子模様を表現し、細番手の糸をドビーで浮かして模様を出している。その部分が精練漂白で		もれて糸の形態が変化して太くなり地模様を表現している。		ドビーによる地模様 幾何模様	裂地	服地その他						裂地	裂地		
0085-01-014-04	2005/12/6	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	生糸のまま	絹	絹	5色の直接捺染	赤、茶、グリーン、黒、青			平地の絹生糸の寒冷紗様織物、耳部には多くの経糸を入れて強く発色させており、糸量が少ないために全体の色が薄い	直接捺染によるペズリー柄である。			ペズリー柄	24×13cm							ペズリー柄	ペズリー柄		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-01-014-05	2005/12/6	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	生糸のまま	絹	絹	5色の直接捺染	赤、茶、グリーン、黒、青			平地の絹生糸の寒冷紗様織物、耳部には多くの経糸を入れて強く発色させており、糸量が少ないために全体の色が薄い	直接捺染によるペズリー柄である。			ペズリー柄	24×13cm							ペズリー柄	ペズリー柄		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-01-030-04	2005/12/6	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	精練絹	絹	絹	地白地	黄色 1色捺染			縒り糸低燃度糸の経糸、緯糸に2本引揃で構成されている寒冷紗様の薄手織物。	直接捺染による一色染色である。		草花 柄	9.5×10.5cm	スカーフ		大正6年に稲畑勝太郎より購入					9.5×10.5cm	9.5×10.5cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-02-021-02	2005/12/13	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹	絹	絹	黒1色捺染	紫地色に黒捺染				ビロードでパイルが後加工で押さえて寝かしてある。	格子状の黒と少し、濃い紫の色の格子の捺染。先に紫の地色で浸染したものに後捺染している。		格子柄	11．4×14cm							格子柄	格子柄		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-02-021-03	2005/12/6	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹	絹	絹	黒1色捺染	茶色の浸染又は先染に				平地に綾(5/3)の模様織物 無地染	一色のハート型模様の黒色捺染		花柄	11×10.3cm							花柄	花柄		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-02-036-01	2005/11/29	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹平織	絹 サク蚕糸	絹 サク蚕糸		白地(クリーム色している)に3色捺染			太いサク蚕糸の平織り織物		3色の直接捺染	花柄	39.2×22.8cm	服地、		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					39.2×22.8cm	39.2×22.8cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-03-001-02	2005/11/15	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹 ジョーゼット	絹 強燃糸	絹 強燃糸	パステル調	白地色 六色捺染			生地は軽めのジョウゼット	大きめな捺染がなされている。シノワズリー様模様が全般に捺染されている。赤の一部に塩基性染料使用		楼閣、南洋植物幾何模様	23、3×13.7 cm	スカーフ		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					23、3×13.7 cm	23、3×13.7 cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-03-004-01	2005/11/15	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹 綾織	絹 縁糸	絹 太糸		白抜き ワイン色水玉捺染			綾織 経糸は緯糸に比して細い 経4本間の綾	直接捺染法、ローラー捺染と推定		水玉	11.6×12cm	服地、スカーフ		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					11.6×12cm	11.6×12cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-03-007-04	2005/11/15	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹平織	絹	絹		黒の経で縞に部分捺染してある	一部黒		可抜性染料による黒先染めの縞織に捺染している。	一方ローラー捺染と推定 着色技法技法を使用し柄の一部は白抜している。一部の着色色材(緑、黒、淡色青)には顔料が使われている		黒の縞に花柄を飛ばして配置している	6×8.3cm	服地、		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					6×8.3cm	6×8.3cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-03-014-02	2005/11/29	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹平織	絹	絹		経糸はグレー色に緯糸は赤色に先染めされている。黒の1色捺染	グレー色	赤色	先染め糸による平織り	先染二色の織物に一色の捺染していらが赤、グレーの反対色で構成されているので汚く見える。		幾何模様1色捺染	6．3×8.3cm	服地、		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					6．3×8.3cm	6．3×8.3cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0085-03-036-02	2005/11/29	生谷 吉男	仏国捺染模様絹布類標本	絹平織りジョーゼット	絹 強燃糸	絹 強燃糸		白地に6色捺染	グレー色	赤色	絹ジョーゼットに花模様の縫い取り(絹)を入れた生地に捺染している。	酸性染料の捺染であるがジョーゼットの地の部分では糸量が少ないために全体から見れば色が薄く、縫い取り部分は濃く発色してお	面白い効果が出ている。	ペズリー風花柄	21.5×16.6cm	服地、		大正6年に稲畑勝太郎より購入 小切れ564枚で337円					21.5×16.6cm	21.5×16.6cm		大正6年に稲畑勝太郎より購入
0096-01-001-04	**2004/6/22**	**行松 啓子**	**絹布捺染地織物標本**	**絹**			**ベージュ(緯糸に自を使用しているために限りなく白に近い)**				**平織り**	**捺染**	**緯糸に撚り数の少ない太番手の糸とやや細めの糸に平テープを巻き付けたいとを一段ごとに織り込んでいるために布表面に凹凸が出来**	**花柄 プリント**	**裂地**		**織り、染め技法に何ら特徴はないが糸使いで布に変化を持たせ面白みを持たせている**								**0**
0096-01-002-04	2008/12/16	生谷 吉男	絹布捺染地織物標本(外国製)	絹 後練り品	絹	絹	黒の縦方向き	白地にサックス捺染			絹の平織	ローラー捺染 微細な柄でローラー彫刻の妙を親ったものと思われる。点の集合で大きさも色をでしかも、照がつられて、重ならず		格子縞	裂地標本 5.0×10.0 cm	服地		上記添付見本下列中央が資料 黒い線の間隔は2.2cm					裂地標本 5.0×10.0 cm	裂地標本 5.0×10.0 cm		1924年購入(大正14年)
0096-01-004-04	2004/6/22	行松 啓子	絹布捺染地織物標本	絹			ベージュ(緯糸に自を使用しているために限りなく白に近い)				平織り	捺染	緯糸に撚り数の少ない太番手の糸とやや細めの糸に平テープを巻き付けたいとを一段ごとに織り込んでいるために布表面に凹凸が出来	花柄 プリント	裂地		織り、染め技法に何ら特徴はないが糸使いで布に変化を持たせ面白みを持たせている								
0096-01-014-04	2004/6/22	行松 啓子	絹布捺染地織物標本	絹			グリーン地色 プリント部 黒、白防染				緯糸に強撚糸を用いた縮緬 (2越)	ローラー 捺染 白地部分は防染でなく彫刻にて色糊を避けている		花柄 プリント	裂地	服地									
0096-01-014-04	**2004/6/22**	**行松 啓子**	**絹布捺染地織物標本**	**絹**			**黒地**				**緯糸に強撚糸を用いた縮緬 (2越)**	**捺染**		**花柄 プリント**	**裂地**		**緯糸に太めの強撚糸をもちいたことにより布に特徴を持たせ、捺染で柄を浮けただけのもの**								
0096-01-014-05	2004/6/22	行松 啓子	絹布捺染地織物標本	絹			黒地				緯糸に強撚糸を用いた縮緬 (2越)	捺染		花柄 プリント	裂地		緯糸に太めの強撚糸をもちいたことにより布に特徴を持たせ、捺染で柄を浮けただけのもの								
0096-01-014-06	2004/6/22	行松 啓子	絹布捺染地織物標本	絹(ジョーゼット)			淡いブルー				すくい織り	捺染	丸撚り金糸ですくい織りに柄を作りその上からに捺染法で柄に色を付ける	花柄プリント	裂地		ジョウゼット布にすくい織りで丸撚り金糸を使うことによって高級感を持たせている。その上に捺染で色を加えることで明るさを出している。また金糸に染料が染まりにくい事を利用して面白味を出している								
0096-01-034-08	2008/12/16	生谷 吉男	絹布捺染地織物標本(外国製)	絹 後練り品	絹	絹		白地 黒捺染			絹の平織	ローラー捺染 微細な柄でローラー彫刻の妙を親ったものと思われる。点の集合で大きさも色をでしかも、照がつられて、重ならず	ローラー彫刻家の技能に敬意を感じる	苔子粒大の点の集合の模様	裂地標本 8.0×10.0 cm	服地		1924年購入(大正14年)					裂地標本 8.0×10.0 cm	裂地標本 8.0×10.0 cm		1924年購入(大正14年)
0111-01-004-03	2008/10/21	生谷 吉男	染織裂型 Facon Moderne	絹	絹	絹		緋地色にグレー、赤のプリント			絹の平織	捺染方法については不明であるが技法は著色技染	技染剤のバレーションが強い	幾何文様	裂地 17．8cm×7．4cm	著物、服地		1923～25欧州各地で収集、織物、プリント、刺繍(連続の機器による)などを種蒔り、当時の繊維製品を網羅している。					裂地 17．8cm×7．4cm	裂地 17．8cm×7．4cm		大正5年11月購入 呉羽会編
0111-02-002-03	2008/10/21	生谷 吉男	染織裂型 Facon Moderne	絹、レーヨン	生地 絹	縫取糸 レーヨン	赤地色 グレーの縫取り				経緯強撚糸使いの軽めのジョーゼットに連続シン刺繍してある	浸染で地色を染色後、刺繍している。または刺繍した生地を浸染で異色染めしたものの不明、前者の可能性が高い		花柄幾何文様	裂地 13.2cm×17.6cm	著物、服地	1923～25欧州各地で収集、織物、プリント、刺繍(連続の機器による)などを種蒔り、当時の繊維製品を網羅している。	1923～25欧州各地で収集、織物、プリント、刺繍(連続の機器による)などを種蒔り、当時の繊維製品を網羅している。							大正5年11月購入 呉羽会編
0143-01-005-06	2008/10/21	生谷 吉男	仏国製織物裂地帖	絹	絹	絹		紫、グリーン、濃いグレー			経方向は経て糸ぼかしの大きい縞、緯糸は三色のジャガード使い色変り			幾何模様	裂地 16．6cm×11．4cm	服地		専門外であるために調査していない					裂地 16．6cm×11．4cm	裂地 16．6cm×11．4cm		AN143は18冊構成の先染め織物集である。
0146-01-004-01	2008/9/9	生谷 吉男	絹布	絹	絹	絹	グレー色				縞糸の太さの違い、経糸は本ずつを交互に上まめ、また地の部分には平織りとしてサッカー状の効果を得ている。	他については織物専門家に依頼のこと		サッカー	裂地標本 28×34 cm	服地							裂地標本 28×34 cm	裂地標本 28×34 cm		
0146-01-021-01	2008/9/9	生谷 吉男	絹布	絹	絹	絹	緑淡色				当時、実業社が市販された裂地帖(国内各地より集集したもの)の中の作品である。絹縮緬の縫糸強燃糸を一方向のみを30縞	入れて種柳シボを出しその後金糸に続いて左撚り、右撚りを5越ずつ交互に3回入れて金糸間に種柳シボと変形の縮緬シボを作った	工夫した縮緬	段縞に金糸入り	裂地標本 28×34 cm	服地	後練り						裂地標本 28×34 cm	裂地標本 28×34 cm		入手年 1907年
0147-01-032-01	2008/9/9	生谷 吉男	木綿及麻布	本織	本織	本織	藍色				括り防染を藍染めしたものを力織機で織成したものである。	製織時には経緯の甘れ糸出ており、甘れを来加工織り漂している	藍染めは表面にかぶりが酷い	緯	裂地標本 6.5×8.0 cm	衣服		岐阜県製					裂地標本 6.5×8.0 cm	裂地標本 6.5×8.0 cm		入手年 1907年
0147-01-080-01	2008/9/9	生谷 吉男		本織	本織	本織	青色、茶色、赤色				括り緯に一部色違いの格子の組み合わせ	地は本織の平織り		緯による格子、縞	裂地標本 6.5×8.0 cm	衣服							裂地標本 6.5×8.0 cm	裂地標本 6.5×8.0 cm		神護隠 明治10年 赤緯縫上布 実用社製見本帖
0148-01-001-01	2008/9/16	生谷 吉男	染織標本	本織	本織	本織	黒色				本織の平織	黄色著色抜染糊と白抜染糊を捺染してからアニリンによる浸染にて地色の黒色を染めている	捺染糊が裏面によく浸透している。	格子緯模様	裂地標本 28×3 4 cm	きもの地		実用社製の染織標本帖 明治40年8月発行の記事有り、丙類染織見本説明書(添付資料)にそれぞれの産地、単位重量、長さ					裂地標本 28×34 cm	裂地標本 28×3 4 cm		産地 大阪
0148-01-015-01	2008/9/16	生谷 吉男	染織標本	絹	絹 合わせ糸		赤色板締染				絹羽二重	羽二重に対する板締染 生地を24cmにでる～6枚に折りたたみそれを布海苔の水溶液を膠数させたもので割り合わせてから凸版に	彫刻された二枚の板で挟み、締め付けて赤色の染液にて染色している	三階松	裂地標本 28×3 4 cm	種袴地		実用社製の染織標本帖 明治40年8月発行の記事有り、丙類染織見本説明書(添付資料)にそれぞれの産地、単位重量、長さ					裂地標本 28×34 cm	裂地標本 28×3 4 cm		産地 大阪
0148-01-016-01	2008/9/16	生谷 吉男	染織標本	絹			赤色				絹羽二重	浸染によるものである本紅か化学染料かは判断できない	しかし、色調から上て灰汁付け(前処理)による深色効果が得られて		裂地標本 28×3 4 cm	裏地	いる						裂地標本 28×34 cm	裂地標本 28×3 4 cm		実用社製の染織標本帖 明治40年8月発行の記事有り、丙類染織見本説明書(添付資料)にそれぞれの産地、単位重量、長さ
0148-01-075-01	2008/9/16	生谷 吉男	染織標本帖	羊毛			茶色				羊毛モスリン友禅	型紙捺染である。送り、合わせ量が目立つ。	現在、虫害が激しい	ランダム格子に花柄	裂地標本 16.5×59 cm	服地		2:犬8尺×2尺 7円					裂地標本 16.5×59 cm	裂地標本 16.5×59 cm		産地 大阪
0148-01-079-01	2008/10/28	生谷 吉男	染織見本帳	本織 捺染金巾	本織	本織	グリーン色				本織平織	直接捺染 ローラー捺染と推定	染色は京都 染価	麦穂連続柄	裂地標本 27×59 cm	服地、きもの	展示会出品	明治40年購入 大阪 吉川捺染工場製					裂地標本 27×59 cm	裂地標本 27×59 cm		産地 大阪
0151-01-001-01	2006/4/4	生谷 吉男	黒八丈 第四回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	絹	絹	絹		黒	黒	黒	平織り、経てのり付け 1反に付き210匁	先染め	よい黒色に染められている	先染め無地	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	袖口、襟							裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		本シリーズは資料名称の如く箱入りで一貫の二枚の裂地が添付され、貫番号が無く、裂地番号が付きている。本報告では裂地番号がそれに相当し、貫番号は順に付けてある。
0151-01-003-02	2006/4/4	生谷 吉男	縞銘 第四回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	絹	絹	絹	黒、白格子			黒	先染の縞 1反に付き110匁 黒経糸は黒6本、白2本の縞にて本組を構成している	先染め	絹の目の縞と経の白とにより格子に見える。	先染め黒に白格子	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	夏物衣料、男には夏羽織		1反11円					裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		明治36年展示 解説書(染織鑑付き) 第6號
0151-01-009-01	2006/4/4	生谷 吉男	モスリン友禅 第四回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	羊毛	羊毛	羊毛	緑地色の捺染 赤、黒、黄、橙、淡色の黄色柄				モスリン白に捺染 1反に付き200匁内外	捺染物に使用する染料は皆普外線反応がある。塩基性染料と推察する。そのために堅牢度は低いものであった。	模様はシンプルな花柄	花柄	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	服地		1反3円50銭					裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		明治36年展示 解説書(染織鑑付き)
0151-01-010-01	2006/4/4	生谷 吉男	東雲染中型 第四回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	本織	本織	本織		白地に青色柄			1反に付き150匁内外 ガス地(ガス焼きした糸使い)白本織に型染めしたもの	白糊を型紙にて捺染し、(型置き)それを艶に浸染したものであるが織縮な模様表現に優れている。	南埼玉郡荻崎村	東雲柄	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	服地		明治36年展示 解説書(染織鑑付き)					裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		本シリーズは資料名称の如く箱入りで一貫の二枚の裂地が添付され、貫番号が無く、裂地番号が付きている。本報告では裂地番号がそれに相当し、貫番号は順に付けてある。
0151-01-013-01	2006/3/15	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑 染織標本 標本番号25	本織	本織	本織	藍色				平織り本織	型紙による防染に藍の浸染で染色されている。藍の部分には染料のかぶりがあり、また防染部分にも染料の汚れや防染不十分の色の浸染込みが見られ、白織が汚れている。	通常両面に防染糊を置き浸染する工程を取っている	格子縞	裂地標本 6.5×8.0 cm	きもの ゆかた							裂地標本 6.5×8.0 cm	裂地標本 6.5×8.0 cm		
0151-01-017-01	2006/4/4	生谷 吉男	都縮子 第四回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	絹	絹	絹	黒 先染め黒				1反に付き190匁(帯地) 著名な黒羅子地で京都織物(株)の製品で京都光輝織東に位置していた。	当時の記録によると西陣地区で染められていたロッグウッド黒やビンローージによる堅牢黒とより作られる。	無地	無地	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	服地、帯地、服地など		明治36年展示 解説書(染織鑑付き)					裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		明治36年展示 解説書(染織鑑付き)
0151-01-017-02	2006/3/15	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑 染織標本 明治36年開催	絹	絹	絹	黒色 先染め				5枚朱子の厚地の生地、1反に付き190匁(帯地)著名な黒羅子地で京都織物(株)の製品で京都荒神橋東に位置していた。	浸染で黒に染色されているが台紙への茶色汚染(移染)、脱ピカ。アニリンによる染めと推考する。当時の記録によるとロッグウッド黒やビンローージによる堅牢黒により作られる西陣地区で染められていた	商品名 都縮子 当時京都の経済界が力を入れていた京都織物会社の代用的な縮子織物	黒無地	裂地標本 6.5×8.0 cm	服地、付属地							裂地標本 6.5×8.0 cm	裂地標本 6.5×8.0 cm		写真はフラッシュにてハレーションしているが黒色である。標本の下段の生地
0151-01-022-01	2006/3/15	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑 染織標本 明治36年開催	絹	絹	絹	カーキー色 無地				太い糸での平織り、段明によれば仏国式杢出織既を用いて製織し、全幅のままでカレンダーのロールにて圧すものである。	生地の2枚重ねにしてカレンダーを掛ける杢目出しではない・		無地 杢目柄 品名 模様杢出織	裂地標本 6.5×8.0 cm	帯地、洋服地							裂地標本 6.5×8.0 cm	裂地標本 6.5×8.0 cm		段明が杢出織(一目が重なりの)又は段明の織物の導入に努めた。しかし本サンプルは仏国式杢出織を用いた織物と添付されているが裏面に模様は無く、顕微鏡所見ではエンボッシングカレンダーによる杢目模様と推察される。写真を拡大すると表面状態がよくわかる。
0151-01-029-02	2006/4/25	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑 染織標本 明治36年開催	お召縮緬	絹	絹	濃いグリーン 無地				経糸に引き揃え糸を使い 緯糸はお召し緯糸(精練糸にお召し柳生でんぶんに柳化の巾など混合)を八丁撚糸機で強撚を掛けたもの	経糸は指定色に染色、緯糸は黒色にする。	製織後、ぬる主湯に浸漬して撚りも取りできるように軽く振り洗い、	無地	裂地標本 76.5×7．8 cm	きもの		抜わ。これにより生地上に縮緬しぼ(細かい凹凸)を生じることで厚みがえられ、特有の風合いがでる。					裂地標本 76.5×7．8 cm	裂地標本 76.5×7．8 cm		
0151-01-035-01	2006/4/11	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念出品物(染織鑑) 標本	絹	絹	絹	白生地				軽目の縮緬で市松の無地部分は綾で、花柄の部分は五枚繻子で柄を表現している。	市松模様に沿って金糸が入っており、アクセントになっている。		2．8×2．9cm角の市松模様で繻子無地と花柄がある。	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	著物、服地		明治36年展示 解説書(染織鑑付き) 標本番号69					裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法	裂地 6．8cm×7．5cm 以下同寸法		
0151-01-040-01	2006/5/25	生谷 吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑 染織標本 明治36年開催	絹	絹	絹	濃い紫 緋				軽の織物 夏用織物 経糸 緋染、緯糸細い生糸の黒染糸を八丁撚糸機にて強撚を施し、でんぶんに柳で撚り止めしてから製織する。	製織後、温湯等にて生地を処理し、手作業にて静かに揉み、強撚糸の撚り戻りを図る。通常生地幅が収縮するのでは上げにインテンターで35回に分けて徐々に幅を広げて仕上げる	夏物著物の代表的なものでは兵庫県明石にて始められたと言う。京都でも作られていたが大正以後新潟県十日町にても生産されてきた。	緋模様	裂地標本 76.5×7．8 cm	きもの							当時、お召しは高級品扱いであった。	裂地標本 76.5×7．8 cm

0151-01-047-01	2006/4/11	生谷　吉男	近江麻布　第四回内国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	麻、	麻	麻	紺色の経緯絣				括り絣？、藍染め絣で経緯の合わせも行われている		製造は滋賀県能登川村　　最近まで能登川にて麻織物が作られていた。	絣、模様柄（花絣）	裂地　6．8cm×6．9cm	着物、服地		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）　標本第93号,1反11円　　仏光寺烏丸東いる　中村商店　出品				裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		明治35年展示　解説書（染織鑑付き）
0151-01-047-01	2006/4/11	生谷　吉男	近江麻布　第四回内国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	麻、	麻	麻	紺色の経緯絣				括り絣？、藍染め絣で経緯の合わせも行われている		製造は滋賀県能登川村	絣、模様柄（花絣）	裂地　6．8cm×6．9cm	着物、服地						裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）
0151-01-047-02	2006/4/11	生谷　吉男	無錫目軟帳地　第四回内国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	麻、	麻	麻	緑色の無地				麻糸で通気性に配慮して粗く織る。		綿材は不明であるが銅をマラカイトグリーンで着色してから麻に揉みゴム糸を植えた乾し台に張り干しして乾燥した物	製造は滋賀県能登川村　長さは10～30丈、幅4尺～7尺	裂地　6．8cm×6．9cm	蚊帳		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）　標本94号				裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）
0151-01-047-02	2006/4/11	生谷　吉男	無錫目軟帳地　第四回内国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	麻、	麻	麻	緑色の無地				麻糸で通気性に配慮して粗く織る。		綿材は不明であるが銅をマラカイトグリーンで着色してから麻に揉みゴム糸を植えた乾し台に張り干しして乾燥した物	製造は滋賀県能登川村　長さは10～30丈、幅4尺～7尺	裂地　6．8cm×6．9cm	蚊帳		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）				裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		蚊帳1張14円80銭　三条東洞院東入る　高橋徳兵衛出品
0151-01-049-02	2006/4/11	生谷　吉男	瓦斯天鵞絨友禅　第五回万国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	木綿	木綿	木綿	6色の友禅模様				木綿糸を使った輪奈天鵞絨に一部を切り毛羽に染まった効果を出している。		輪奈天鵞絨に型紙使いの摺り友禅にて彩色してあり、彩色後柄の一部に輪奈を切り染色効果を出している。	風景	裂地　6．8cm×6．9cm	壁面、屏風、額など		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）				裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		
0151-01-050-01	2006/4/11	生谷　吉男	捺染綿ネル　第五回万国博覧会記念出品物（染織鑑）標本	木綿ネル	木綿	木綿	2色捺染				綿ネル、木綿の平織り　地色の染色後に起毛する。その後にローラー捺染している。		当時の明治政府の施策として輸入品を減少させ、輸出振興のために西欧技術の導入によって国内向け、輸出向けの織維製品を生産を拡大させていたがそうした施策に基づき四	染通り千本西入るに五二会綿ネル会社がネルの製織、染色を始め、日本で第2番目のローラー捺染機を導入した。その後がこの本品を出品した。京都綿ネル株式会社である。	幾何模様	裂地　6．8cm×6．9cm	服地　中国、方面への輸出品					1巻き870反で45円　西陣の機屋　元饗順時千本西入る　東野勝直			裂地　6．8cm×6．9cm	裂地　6．8cm×6．9cm		明治36年展示　解説書（染織鑑付き）　標本99号
0151-01-051-01	2006/8/23	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　明治36年開催　捺染綿ネル	木綿	木綿	木綿	藍色				綿ネル　染色に先立って起毛工程を経る 針布ローラーによる		通常のローラー捺染	京都綿ネル株式会社製　当社については AN151-1-50-1に解説	幾何模様	裂地標本　6.5×8.0 cm						裂地標本　6.5×8.0 cm	裂地標本　6.5×8.0 cm		表題　木綿中形
0151-01-054-01	2006/9/19	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　明治36年開催　捺染毛斯綸モスリン	羊毛	羊毛	羊毛	ダークグリーン　一色				羊毛平織り		一色のローラー捺染と推察される。織綿の模様表現が見事である。	108の捺染鑑子に比して先鋭度が低い	幾何柄織	裂地標本　6.5×8.0 cm	服地					裂地標本　6.5×8.0 cm	裂地標本　6.5×8.0 cm		表題　木綿中形
0151-01-054-02	2006/9/19	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　明治36年開催	絹、木綿交織	絹	木綿	紫色　一色				縫糸に太い綿糸を使い、三枚鑑子とし、経に縫い糸の絹、縫糸に太い綿糸が使われている。		一色のローラー捺染と推察される。織綿の模様表現が見事である。		花柄織	裂地標本　6.5×8.0 cm	服地					裂地標本　6.5×8.0 cm	裂地標本　6.5×8.0 cm		白川通り三条南　堀川新三郎出品　標本番号107号参照
0151-01-056-01	2006/7/25	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　染織標本　黒紋付き		絹	絹	黒　　石玲				七枝鑑子		ピンロージュ、アリザリンによる引染		石玲　黒紋付き	5.5×6.5　cm	喪服きもの					5.5×6.5　cm	5.5×6.5　cm		新町通小路下ル　木村勘兵衛工場　標本111号
0151-01-058-01	2006/7/25	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　染織標本　羽二重紅板メ（縮め）	綾羽二重	絹	絹	紅				綾羽二重		板締め染法　本紅染	模様に従い2枚の対模様の木版を彫刻しその2枚の彫刻した木版の間に生地を挟み締め付けて固定し、浸染にて染色する。締め上げた部分が防染され、模様となる。	紋章の幾何模様	5.5×6.5　cm	襦袢、下着					5.5×6.5　cm	5.5×6.5　cm		第115号
0151-01-061-01	2006/7/25	生谷　吉男	第5回内国博覧会記念染織鑑　染織標本　本紅花染絹	軽目の羽二重一匹　178匁	絹	絹	紅　紅花染色				羽二重　に本紅染（本サンプルに記載されている染色法）		浸漬法	無地	5.5×6.5　cm	襦袢、裏地						5.5×6.5　cm	5.5×6.5　cm		第115号
0161-01-001-01	2003/5/26	切畑　健	ネクタイ地	絹	撚り強く	無撚り	経糸は各色斑状に並べてある。（金茶・紺・茶のボカン・金茶）緯糸―ヤスラル・紺・地茶・鉄				濃子ほか　ヌキで模様　鉄色は絵緯か。			タテ長の四角形裂地														
0161-01-014-10	2003/5/26	切畑　健	ネクタイ	絹	白、ただし葉の所は下のダイダイが5つって色がついて見える。乙撚りがかかっているのか、黒	白とクロのヤスラダ、ダイダイ、ミドリはヤスラに織り込む、無撚り、ウキヌ小計					濃子を中心にヌキにはウキヌキ文に効果的に織り入れる。			葉並べ　葉の下は細い段（白とクロ）精巧風に段とスル	長方形裂5.9×9.1cm	ネクタイ		精巧風の地に濃子の効果を生かしている。ダイダイヌキの光沢がよい。				白、クロの細段地にダイダイの葉が美しく映えている。緑のエとクロの葉脈が又精をシッカリ見せている。多くのネクタイ地の中で、目をひく一裂である					
0161-01-024-6	2003/5/26	切畑　健		絹	クロとライトグレイのヤスラダ　S撚り	クロとエンジ　無撚り	石畳に小円、変わり格子				濃子？を中心とて、精巧風やヌキジュスなどで変化面白く表現している。				長方形6.0×9.0cm	ネクタイ		図のような？変化させている。濃子、セイゴウ		なんでもない織物と見えつつしかし難しい。組織でもなく変化にとんだ裂地とする						色もわずか3色でありつつ、きわめて効果的である
0161-01-029-5	2003/5/26	切畑　健		絹	平	平			白茶濃淡で？を表す	赤ヌキで段が表されている。ヌキ浮きで模様模を表しているが黒ヌキ糸をもそえて小文様をあらわしたりする	平地でタチウキ文様			幅広い地に波段をかえ、三角形などあらわず	不整形、底辺17.6cm、高さ6.6cm斜め辺、10.8cm	ネクタイ		段や？に小文様があらわされている。（？、クモシボリ風、立涌風、クサビ形）				平凡な色彩の？織であるが、変化にとんだ表現に魅力がある					
0161-1-11-12	2003/5/26	切畑　健	ネクタイ	絹	黒	金茶、紺、紫					無撚、濃子地にヌキをヤスラ風（金茶、ムラサキ）に織り入れ、一色は、絵（青、白）絣ら、キヌキの処理				正方形に近い、7.3×8．3cm（ウミ共）	ネクタイ		山キザミの段替わりで、左右に流れる平行四辺形の中に三角形を絞ヌキであらわし、三角形の間に地濃子を横かせるなど手が込んでいる									
0339-01-001-09	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ地	絹（wp.wtとも）					地黒	柄白	トビーで製織可能		先染（wp糸・黒、wt.糸白		斜子調、無地感覚	地合緻密で	ネクタイ地	ネクタイ地としてはあまり例をみない無地感覚の柄として一見あるのでは？								ヌキの密度が低いのでかすかに透明が見える効果がある
0339-01-002-006	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp糸（細い糸）、wt糸（太い糸）共に絹			wp糸白色、wt.糸橙色				ジャカート織		先染（wp-白、wt－橙）		よろけ波状浮柄	外観は白糸で波状表地の無地感覚	ネクタイ地	遠景による外観では、縦縞な立涌状orよろけ状の柄行きはあまり例をみない裂地									
0339-01-03-11	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp糸―黒、横糸太い糸、細かい糸ともに絹			wpt.橙色、wt.糸地色橙色、柄糸白糸				トビーで製織可能		橙色のwp.wt.糸とも吸き初め　白のwp.wtは生糸使い？		浮柄模段状としてユニーク柄		ネクタイ地										
0339-01-04-04	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp糸一紫おぼび赤ピンク・水色etc. wt糸一紫			紫色を基調とした花柄の太いヌキ縞				紫色縞は平組織の花柄部		花柄部の色糸は、経て糸捺染による？	白色は生糸使いによる推縮効果も表現	太い縞柄の配列中。花柄のボカン風。	細い糸をwp、wt等ともに用い、緻密な組織	ネクタイ地としては、極めて異例な作品	太い無地（紫色）縞柄の中に太い花柄をはいした柄にも一ロッパ風に漂わせる。柄。	経縞柄を強調しながら縞は浮糸を多用することで、ネクタイ地としては、例をみない裂地。但し乱雑な着用によれば浮糸切れの可能性有							
0339-01-05-05	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	経糸、緯糸ともに絹			暗黒色調の中に濃い茶、紺、紫で紋柄表現。黒を基調とした陰影効果を出した植物柄				朱子地紋機による柄出し。緻密な密度、地合い。		先染糸				ネクタイ地	暗黒な地の中にモダンな紋柄で斜め方向から外観では紋柄が明瞭にみえ、かつ杏目状の表現も。									
0339-01-06-10	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp糸、wt.糸ともに絹			wp糸一濃紺、wt.糸一濃紺と金茶色				紋組織による金茶配列による市松柄并術柄		wp.wtともに吸き先染糸				ネクタイ地	クラシクな紺地基調の中に市松柄は当時としてはユニークな配色？									
0339-01-08-12	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	経糸、緯糸ともに絹					紺、赤、黄	黒	ジャカード紋織組織				横ヨロケ縞状、色糸は点描柄柄出効果	ヨコ糸は比較的強い燃糸使用により緻密地合い	ネクタイ地	横縞柄の中でヨロケ飲のような表現が一味興味深い									
0339-01-12-11	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp.wt.糸ともに絹			黒、黒褐色地に白糸応用				ジャカード紋柄		経糸、緯糸ともに先染糸		白糸により長描効果により唐草様表現		ネクタイ地	地味な地紋配色の中に白長描様で葉柄で表現。クラシックな格行きのろちに唐草風柄が躍動的な外観を呈する。									
0339-02-001-01	2003/8/7	藤井　健三	紋織物	経糸：絹（黒）S/2・z　緯糸：絹（青と金茶の交代織）、平糸											渦巻模様（連続）	裂地　タテ86mm×73mm	男性用袴路	黒色地経糸と青と金茶の交代織による平織地に黒色地紋、及び青と金茶の地錦を地場浮文で模様を織り出す綾織物、もしくは紺子織物									
0339-02-001-03	2003/9/9	川口　浩	男子袴飾地（ネクタイ地）	絹？	極細	やや太糸	濃紫色				丸パターンの中の紋地の幅の大小に上がりボカン効果を出す				丸模様、半月パターン		ネクタイ	朱子地々紋に紋地織により丸パターン中に光沢を植し出す。グラデイエーション効果あり									
0339-02-003-01	2003/8/7	藤井　健三	起毛織物	地経（後恵）s/2・Z　地緯　麻（後恵）s/2/z			綿絵毛（緑、黄、赤、青、黒）平糸、10/cm				平組織起毛織物		化学染料		段模様（両耳あり）　織巾69mm		男性用袴路	S撚び細い経緯糸の平織地に手織地に無撚の太い色絵緯を平トジで織り入れて製織後にカーシィングを行って絵緯糸を起毛したもの									
0339-02-003-04	2003/9/9	川口　浩	男子袴飾地		絹	金箔糸（本金箔？）	薄もえぎ色				緯糸挿入は、引箔によるもの？斜子（ななこ）調組織。		先染タテ糸使用		濃薄もえぎ色ベージュ色縞柄	比較的厚地		袴飾地とあるが、西陣織地風の地厚風。									
0339-02-003-05	2003/9/9	川口　浩	男子袴飾地		絹or Rayon?	不明	薄ベージュ、紋都分一薄紫				柄部分の横糸は縫取組織		地部分は、先染糸使用		柄部分の横糸は、縫取組織		不明	柄部分の高選金糸は、金属糸にてみ素材のため、銀の箔使けの所味効果あり又、プレス加工によりフラットな地風を表現									
0339-02-003-15	2003/9/9	川口　浩	男子袴用？		絹or Rayon?	不明	黄色				経糸曲がり組織による（博多織風）に厚地風		タテ糸、ヨコ糸ともに先染糸		朱・薄、紫の3本浮効果による縞柄			袴飾というよりむしろ長田紐状									
0339-02-013-12	2003/8/7	藤井　健三		地経　絹（茶）（緑）（青）S/2・Z 120/cm 地緯　絹（黒）、平織36/cm											筋模様	裂地		地経（茶）と地緯の各越とで経3枚綾右流れを織り又地経（茶）と地緯の別各越とで経3枚綾の左流れを織り出しす。その中に緑と青の地経で経紋組織の経縞を織入れる。緑と青の縞にはエンボス加工を加えてモアレを表現している。									
0339-02-014-08	2003/8/7	藤井　健三	紋織物	地経　絹（黒）S/2・Z 36/cm 地緯　絹（黒）引搦　18/cm			絵経縞（白）s/2・Z（地経2に対し絵経2）地経？（白）平糸、金銀				朱子（経8枚）地　絵経及び絵緯浮文錦			文文60mm 文寸間48mm		裂地（片耳あり）タテ66m×97mm	男性用袴路	黒の地経、地緯で経8枚朱子地を成し、そこに白色の絵経と絵緯で浮文を表す									
0339-02-014-8	2003/8/7	藤井　健三	紋織物		地経縞（黒）S/2・Z 36/cm	地緯　絹（黒）引搦、18/cm			絵経縞（白）平糸、金銀		朱子（経8枚）地、絵経及び絵緯浮文字錦					裂地、											
0339-02-022-13	2003/8/7	藤井　健三	紋織物	地経絹（紫）、甘S、地緯？（黄）引搦、		レーヨン？	レーヨン？				朱子地、地織浮文、緯、（細子）		化学染料		小花文様	裂地54×71mm	男性用袴路	地経紫、地緯黄の経8枚朱子織物の地緯を浮文として地描で紋出したもの。									
0339-02-07-08	2003/9/9	川口　浩	男子袴飾地				暗紺色基調				ジャカード織		タテ、ヨコ糸ともに先染糸		機柄			機状業柄の紋によるボカシ効果を巧に生かす。（緯糸の浮沈効果）また業柄の浮き効果により太さを表現									
0339-03-001-01	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）	絹			黒、緋（赤）				全体的に緋織、赤いタテ糸でストライプを表現				ストライプ	タテ撚糸、ヨコ黒		赤いタテ糸4本でストライプの1本を構成									
0339-03-001-12	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）	絹	クロ	片糸			クロ	紫	朱子変化織、ぼかし表現				よろけ変つなぎ		地一4紋　タテ一撚糸、ヨコ一片糸	ヨコ糸のトジの間隔を、アラーコマカ織でボカシ表現									
0339-03-002-05	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）		撚糸	撚糸			黒・黄・クリーム	黒	地2越朱、ストライプ、4枚朱子				ストライプ			畦と朱子で光沢の変化をつけている									
0339-03-003-12	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）		撚糸	片糸			黒	ブルー・ウスグリーン・ピンク	地一10枚朱子、柄は針1本上げて表現				ペイズリー			針1本上げで繊細に柄を表現									
0339-03-004-12	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）	絹	撚糸	片糸			黒	黒・白	綾織で高く見える部分は2重織になっている。経糸を浮かせて斜線を強調				バラ			高く見える部分の生地は細かくトジ、その上にくろのヨコ糸が織られている									
0339-03-006-07	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）		撚糸	片糸			黒	黒・ブルー	地は平織、葉の中は朱子、緋（ブルー）は朱子とし				草花			タテ糸の織り変化で地と花を表現									
0339-03-014-06	2003/7/7	山東　清伸	ネクタイ（男子用・袴飾地）		撚糸	片糸			黒	赤・黄・グリーン・ウスブルー	綾地の上に二重織で色糸を織り込んで柄を表現。タテ糸を浮かせて斜線を強調																
0339-1-3-12,13,14,15,16	2003/8/7	川口　浩	ネクタイ地	wp糸.wt糸ともに絹			wp糸黒、wt.糸ブルー、赤、紫、緑、ピンク、茶				ジャカード織によるボカシ柄		wp糸、wt.糸共に先染糸		何れも横段上に太縞のボカシ柄		ネクタイ地	12,13,14,15,16の何れもネクタイ地のボカシの幅は多用されるか、隣接する配色に例の少ないセンスが窺がえる。									
0339-2-03-001	2003/8/7	藤井　健三	起毛織物		地経（後恵）s/2/z	地緯麻（後恵）	茶褐色				平組織起毛織物		化学染料		段文様	裂地（両耳有）織巾69mm	男性用袴路	S撚び細い経緯糸の平織地に手織地に無撚の太い色絵緯を平トジで織り入れて製織後にカーシィングを行って絵緯糸を起毛したもの									
0339-2-04-8	2003/9/9	川口　浩	男子袴地		絹？	絹？	茶褐色		黒褐色、黄、紫	黒褐色	ジャガード紋柄（雲形状）		緋糸、横糸ともに生染糸使用		雲形パターン、紋柄			雲形パターンは、実洋調、男子袴地よりもむしろ敷物調地風								生染糸：生糸を染めた糸。糸にセリシンがついている。
0339-2-05-1	2003/9/9	川口　浩	男子袴地		レーヨン？	レーヨン？	濃紺基調				ジャガード織		緋糸、横糸ともに生染糸使用		ペーズリー柄			ペーズリー柄の中に緻密な模様にて、豪華さを表現（茶、紫、緑多用による）									
0339-2-08-01	2003/9/9	川口　浩	男子用袴飾地		絹or Rayon?	絹or Rayon?	黒地及び金属光沢色				黒地は経糸子表裏組織		経糸、緯糸ともに、先染糸		黒と金属光沢色の縞柄			金属光沢色は、経糸の赤、黄、青のクラブ糸は比列に赤ラ数現しその時タテ糸の色糸とヨコ糸の黒色の組織長を応用した効果。									
0347-01-005-04	2003/11/11	川口　浩	絹婦人服地		強撚糸	無撚糸	薄いチョコレート色				先染紋織にて、経糸はトジ効果のみで緯糸は、長浮きとし、肉厚な地風と凸凹間を強調している。質質な地風				花柄		絹婦人服地										
0347-01-012-06	2003/11/11	川口　浩	絹婦人服地	絹先染糸	極細	やや太糸	茶色				紋織りにて柄出し、地は経糸曲り平織、先染糸				大柄(花)		服地	経糸曲り効果で肉厚地風とともに柄部分は朱子組織で表地									
0347-02-021-03	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹	絹、二丁				紫、薄紫	8枚朱子				花			タテ捺染と模様織の併用、花柄は、ヨコ糸浮織で、シルエットは、ヨコ糸二丁のこまか組織で表現									
0347-03-001-03	2004/4/26	生谷　吉男	婦人服地絹布類	絹の強撚糸使い			白、赤				強撚糸を使い、二重組織にしたふくれ織り。経糸　赤色、緯糸　白糸で無撚り2本、赤糸の強撚糸を2本				幾何模様	裂地	服地	先染めの二重組織（緯糸強撚糸）によるふくれ織物									
0347-03-002-02	2004/4/26	生谷　吉男	婦人服地絹布	絹			黒				ジャガードを使い緯糸による縞子柄、また経糸を使って縞子表現をしており、反射状態の違いにより地模様を表現している。		浸染黒一色		草木、花柄	裂地	服地										
0347-03-009-04	2004/4/26	生谷　吉男	婦人服地絹布類	絹			グレー色 w－白、v－紫、g－グレー				経て縞の平織りで経糸が細く、緯糸が太い				5mm幅の縞模様　　縞の順序 wvwvwvgwgw	裂地	服地	縞織物									
0347-03-012-05	2004/4/26	生谷　吉男	婦人服地絹布類	絹			赤系　3色　黒1色　グリーン1色				経糸方向縞子織り				縞　緯糸に変化	裂地	服地	13.5mm幅の色違い縞模様、それに青糸を絡めて先染を出した縞模様									
0347-03-023-03	2004/4/26	生谷　吉男	婦人服地絹布類	絹			無げ茶、濃い焦げ茶				経糸方向　縞子織で生地目がよろけている。模様6側織で表現				葉柄	裂地	服地										
0347-05-003-03	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹(平糸)	絹(片より強撚糸)					ヨコ糸ヨロケ。地の中に花柄の紫のヨコ糸を共通使用で、影、葉を表現				花唐草			地　ヒプ部分は赤にヨコ糸（一重織）用糸が強撚糸を使用した。花柄は紫色糸と花柄の葉糸1/4、葉一ヒプ/ヨコ糸花柄の葉1/1の平織。花柄は紫色糸8枚の変化綾でボリューム									
0347-05-020-06	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹では無い	絹			黒		朱子織				花柄												
0347-05-022-04	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹	金箔(二本引揃子)					地－10枚朱子・金－ヨコウキの5枚朱子		捺染(緋風)														
0347-05-025-01	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹	金箔(二本引揃子)					アンコ入り（太い糸一越ではない様に思われる）		捺染(緋風)														
0347-5-1-1	2003/11/11	森　克巳、山東　清伸	婦人服地絹布類		絹	絹、金モール(焼金モール)					地一平織 モールのトジ巾が広い為地が縮んでいる				横段												
0348-01-002-04	2003/11/11	川口　浩	ウール服地				ウ゛ェージュ色						梨地様組織	プリント柄	花柄		服地	花柄は枝葉のパターンは細密にて興味深い									
0348-01-005-03	2003/11/11	川口　浩	ウール衣服用		強撚糸、横糸毛糸		ベージュ				単純糸平織組織		プリント柄		花柄、強調したペーズリー柄		服地	赤、緑、黄土、薄青etc.多彩な色調応用と比較的レピート、大きな柄出効果あり									
0348-01-008-04	2003/11/11	川口　浩	毛織服地	シルク	梳毛糸およびシルク先練糸、	梳毛糸	ベージュ				単純梳毛平織地に経糸別ビーム経糸使い		花柄はプリント柄		花柄点在		婦人服地	梳毛平織地にシルク使いのボーダ効果をウールとシルクの光沢差で表現									
0348-01-025-07	2003/11/11	川口　浩	毛織婦人服地	梳毛糸			暗緑色				梨地組織		プリント柄（梨地上に）、バラの花柄		暗緑地色にバラ柄		婦人服地	梨地組織とバラ柄に花柄を加え、一見単純そうでプリント花柄を浮き出し効果を重ねている。									
0348-02-001-02	2004/5/17	生谷　吉男	毛織捺染模様服地	羊毛モスリン白生地に捺染			赤、緋黒、白のストライプ						直接捺染		縞柄	裂地	服地	本社作品文献に捺染

0349-01-004-02	2004/1/13	生谷 吉男	服地	木綿			茶色地色に青色の捺染				ループ織りしてからパイルにても羽を切っている	茶色を浸染後凸型のブロック捺染で型押しも同時に加工している		幾何模様	端切れ	服地	ブロック捺染で顔料を使い、生地に強圧して凹面を作り同時に顔料を捺染固着している										
0349-01-004-05	2004/1/13	生谷 吉男	服地	レーヨンパイル			淡色のグリーンで地染、顔料プリント3色				パイル織り	ブロック捺染	ペーパーカレンダーで表面を平滑化	幾何模様	端切れ	服地	パイルお円もの をカレンダーで平滑にしその上からブロック、捺染技術は粗末なもの										
0349-01-007-02	2004/1/13	生谷 吉男	夜会服並びに流行服地	木綿パイル			黒				木綿によるパイル織物	生地の上から型染め 接着剤を型染（ブロック）それにビーズ2色を接着している。		幾何模様	端切れ	服地	型染めが粗雑										
0353-01-001-04	2003/8/7	尾形 充彦	ヴェール・ガース 木綿 縮 1925	木綿（表紙の名称に従った）			白の地に赤（ピンク）と青（青磁色又は薄藍）の文様				地は平組織、赤と青の糸は緯い執り式に織り入れてあり、組織は文様部の糸の浮いた浮織りおそらく色緯は裏地	一般一杼に通っている。白糸と先染の二色の糸を用いている。	経：約34本/cm 幅0.15～0.3mm（バラつき多い）緯26～32本/cm 幅 約0.2mm（バラつき少なく）	赤と青の帯状の線の交錯により作られた大細の帯の線	細長い長方形	不明	白・赤・青のいずれの糸も強糸。太さは赤と青が白糸の3～5倍である。	裂帳の上下方向が経糸方向。糸緯糸：約32本/cm 幅約0.3mm 緯約32本/cm 撚りは、全体的に1000回ほどにS・Z混在、一見すると地は左回のように規則的に星型のシボを形成しているように見える面所形。これは経緯強撚糸の組織の特徴である。								
0353-01-001-06	2003/8/7	尾形 充彦	ヴェール・ガース 木綿 縮 1925	木綿（表紙の名称に従った）			地（平組織）色径・色緯がそれぞれ草色がかった金茶、濃い草色がかった茶の3色がみる。				地は平組織、色経は経4枚綾組織、色緯は緯3枚綾組織。色径・緯も緯い執りやり浮売り風でなく、地をきちんと組織している。	三種三色の糸を先染めしている。	地組織の経・緯糸は強撚糸。濃い色経は、ごく甘撚り、金茶の色経は甘撚りと見える。濃い色緯は、S撚り、S・Z混の左。強撚の経での間に甘撚りの経を規則的に並べ、強撚の織いられ、緯糸のところに緯ぼ平井との濃い糸緯を綾組織においいれている。	色違いの細い縞	細長い長方形	不明	強撚の経：約27～8本・幅0・1～0.25mm 撚り1000～1500回/m か 甘撚の経：16～18本/cm 幅0.3～0.45mm 撚り500回/m程度か ごく甘撚の緯：18～20本/cm 幅0.5～0.7mm 撚り200回/mか 裂帳の左右方向が経糸方向	裂帳の経糸方向、緯糸は強撚糸、約25mm間隔で、甘撚の経糸が、綾組織に入っているので、地組織も十分なシボが出るにいたっていない。平糸に近い緯は、波状うねって曲がっていているが～となっており撚り糸の特徴というより、糸が細い管に巻かれていてもともとコイル状のクセのついた糸を用いたのではないかと考えられる。								
0353-01-001-07	2003/8/7	尾形 充彦	ヴェール・ガース 木綿 縮 1925	木綿（裂帳の表紙に木綿縮とあることによる）			薄紫（所々に薄い茶褐色のシミの糸があるがこれはシミ汚れ）				経：約18本/cm 緯20本/cm 経0.1～0.25mm 緯0.2～0.7mm （糸の太さは上から見た糸幅）	おそらく後染めで淡色に染めている	縞織が種に並んで平たくなった糸を緯糸に用いている。そのツヤと輝きからもメンなのか合縞なのか不明と思える。 地組織は、平組織、文様部分は、浮き織り(3本、5本、7本と経糸の上を緯糸が浮いている)	藤の花枝が垂れ下がっている様子	正方形に近い四角形	不明	裂帳の上下方向が強撚（S撚、Z撚混在、1000回～2000回/mまでの）経糸。緯糸には、無撚りの平糸を使用。経糸の撚りは強く、糸が波状に揺れ動くように曲がっているが、緯糸の平らな面の摩擦力が大きく、縦裂のようにはシボが出来たり、表面が歪んで凸凹にした感じにはなっていない。								
0353-02-001-09	2003/7/7	切畑 健	変わり織模様	木綿と絹（？）			白茶				平織地に縞はタテヤスラ引に毛糸を用いて、ヌキ3顔を浮かして、浮織	地のヌキ・タテともに強撚糸でZZ.SS.ZZ.SSと繰り返し縮効果を現す	変り織文様製	変わり織、織一太目の毛糸	台形裂	不明	全体にタテ・ヌキの密度が低くて、透け効果があって	地タテ・ヌキ糸には、太目どりが見られてその一見無造作感に魅力がある									
0353-02-001-12	2003/7/7	切畑 健	格子文様製	木綿 ただし地ダテ・ヌキは化繊か光沢いちち乱しい	タテ糸 黄と赤 黄は毛糸 赤は強撚糸	ヌキ糸、赤と黄	タテ糸、赤と黄、ヌキ糸黄と赤				毛組織 タテ・ヌキとタテ1.5cmおきにしま、ヌキ1.7～1.8cmおきに段		格子文様製	格子 格子は タテ、ヌキともに白、黒のゆるい諸撚り2本引きそろえ	台形にきられている	不明	織耳はタテ2本とり、9mm。透けた効果と格子の糸の面白さ、ヒラヨリの重なる効果一種色の効果	密度は低くて、格子の地は透けていて格子の諸撚糸糸が効果的である									
0353-02-002-03	2003/7/7	切畑 健	変わり段文様製	地ータテ・ヌキ太縞、又ー文キ毛（?）6段ー5.3cm 地7.0cm			地ータテ・ヌキ 藤色、又ーヌキ赤・ミドリ				地一平組織 タテ（強撚）ZZ.SS.ZZ.SS又ータテ8顔をウキ況みにしている	不明	特に点と点との間でタテのよく露出しているところは、タテの強撚によるループさえ出来ていない	段はイチゴ模様と言うように、ふくらんだ点状の縞、変則的なモヨリ糸	不整形	不明	地組織は手で段をイチゴ模様にふくらませた点であらわず。手のヌキ16顔にモヨリ2(アカ)1(ミドリ)2(アカ)を互いの目に織り入れて段をつくる。タテ8本浮いて段を作る。科学染料特有の色彩をしている	地タテ・ヌキは、細くあたかも綿のように見えるが、強撚にかかわらず木綿特有のケバ立ちが見られる。又、段に木綿のように見えつつ羊毛であることが、簡単な実験で知られる								
0353-02-002-06	2003/7/7	切畑 健	輪奈糸織製	地 タテ・ヌキ 絹、輪奈糸絹			オリーブ色				地3枚綾に輪奈糸をヌキ6枚綾で表面に輪奈が出るように織る。又キ6枚綾の金襴のよう		地タテ・ヌキ・ヨコ方向にたこ糸は強撚でループが出来るほど。輪奈糸ーアマ撚りの太糸にループつくらせ。輪糸を縞まきてループを押さえる様に上性特色色ヌキに用いたもの。アマ撚り太糸はS3リで一種のモロヨリとする	無模様 風合いの面白さを見せる	長方形裂	不明	一見ビロードのように見えるほど輪奈糸のループが表面に浮いている特色のある風合いである。地のタテ・ヌキは細くかも密度は低く軟い裂帳である。輪奈糸の金襴の金糸のように、地タキにのせている。	地味なかぶ、ルーペで見ると特色あって他調査員の悪見なども聞く。								
0354-01-003-11	2004/5/25	生谷 吉男	ネクタイ地絹織物	絹/レーヨン（セミダル）			緋 多色、 レーヨン 白				綾子組織による地模様があり、多くの色で染められた経糸により、縞模様になっている。			縞柄	裂地	ネクタイ	綾子組織による地模様があり、緯糸（白レーヨン）は経糸に隠されている										
0354-01-007-09	2004/5/25	生谷 吉男	ネクタイ地	絹			1. モアレー部分 ？ 2. ジャガード部分 茶色、ブルー、焦げ茶				経糸を整経捺染（モアレー部分のみ）、 緯糸に4色の糸を使ってジャガードにより縞子による模様を付けている。モアレー部分には	緯糸を4色まとめて織り込み経糸で隠している。		ジャガード部分に花柄	裂地	ネクタイ	本品のほか、類似の織物が多く収縮されており、モアレ部分と他の模様部分が縞状に織り込まれており、仕上げ時にエンボス加工に、平織り部分にモアレー模様が加工され、ジャガードによる凹凸のある部分にはモアレー模様が出現されないことを利用している。同一技法の物が多く収録されている										
0354-01-031-13	2004/5/25	生谷 吉男	ネクタイ地	絹			紺の部分 黒				黒の紺部分は六本紺になっておる	黒染め		リボン部分は幾何模様	裂地	ネクタイ	図を記入										
0354-02-001-11	2004/5/25	川口 浩	絹ネクタイ地	絹ネクタイ地		絹	地色部 濃紺地、柄部 黄土色				平織り上織ブロック織り文様部分、			縞柄（モアレー部）と大小形松模様	裂地	絹ネクタイ地	市松模様柄を配置、ネクタイ柄としてはユニークな柄と色目を一										
0354-02-002-11	2004/5/25	川口 浩	絹ネクタイ地	絹			紺、茶、黒、橙等多色配列				紋地で縞の紺に縞子織り文様部分、上面より目立たないが斜め方向から見れば縞子地が浮き	見える		幾縞な縞柄	裂地	ネクタイ	一見して多色糸応用の多彩な縞柄を呈し、なお縞柄中に丸柄が浮き出し公謂を呈している。										
0354-02-008-03	2004/5/25	川口 浩	絹ネクタイ地	絹			多彩色の縞柄をベースにする				平組織の経緯糸配色、経て曲がり組織	エンボス加工によるモアレー柄配置		縞柄	裂地		縞柄をベースに縞柄、緯糸による柄表現、なお、平織りの経て曲がり構造による縞り構造、なお、製織後のモアレー表現のためエンボス加工を加える。染め、織り、後加工の各種の技法を駆使している。										
0354-02-015-03	2004/5/25	川口 浩	絹ネクタイ地	絹			暗灰色地に橙色・黒配置				経緯子地で木の葉模様を配し、葉脈は緯糸浮きによる	経、緯糸とも先染め		平地に木の葉模様を緯子地で表現	裂地	絹ネクタイ	色彩では多少暗い色調であるが絞織織により木の葉を配する姿量と模様を呈する										
0354-02-023-01	2004/5/25	川口 浩	ネクタイ地	絹			暗い灰色をベースとする				各々の縞部では多色使いと紺朔紺と変化浮き織り部および平織り部の3つの縞部で構成され、これにエンボス加工でモアレー模様とする	経糸、緯糸とも先染め		縞柄	裂地	ネクタイ	製織と染色（緯加工）と後加工によるモアレーと多様な縞柄としてユニークな模様配置、ネクタイ地としては興味深い色柄を呈す										
0607-01-004-09	2004/6/8	切畑 健	絹及平絹服地関 第26類2冊の内1	絹			淡紅地		淡紅地、無撚	淡紅地、無撚	朱子絹織（3枚）朱子を中心とし タテ・ヌキ・朱子による文様を表し、さらに4枚綾（この面では タテ綾文）を加えている。			地文様として花と変り鱗文様 耳がある	長方形裂 11．4（カラ共）x18．2（片方のみカラ共）	婦人服地	文様表現において朱子のウラオモテや綾絹縞を効果的に併用する。「1927年」とある。（つけ紙札）									織耳があるので考察に有効	
0607-01-005-01	2004/6/8	切畑 健	絹及平絹服地関 第26類 2冊の内1	絹			ピンク地				タテ・緯 平組織 ヌキ・打込の粗密によって軽い凹凸の段がはく面に生じている。	緯		花束緯文様	長方形裂 B．0x12．4 耳がある。8mm	婦人服地	バラなど数種の花束文様。銘仕調のタテ緯	ピンク地が華やかで、凹凸の段による光沢の変化が美しい。									
0607-02-001-07	2004/6/8	生谷 吉男	絹及平絹服地関	絹			経糸 黒、赤、ブルー 緯糸 白				経糸、それぞれの色ごとに色幅の違う緯である。また経糸が太い糸と細い糸糸があり、太い糸の部分が色が点状に表現されており、単なる縞でなく変化が楽しめる																
0607-02-002-04	2004/6/8	生谷 吉男	絹及平絹服地関	絹			縞で経糸が赤色の緯糸 スパンの長い漂染				経糸に淡色の赤色を染め、それに濃い赤色を緯状に染めた糸を経糸でしかもそれをランダムに入れて縞織りとしている	緯糸に強撚糸を使い、縮縮様の織物に仕上げている															
0607-02-009-03	2004/6/7	生谷 吉男	絹及平絹服地関	絹/レーヨン			茶系色				平織り、	経糸捺染に白色のレーヨンを織り込んだ経緯織り															
0607-02-028-03	2004/6/8	生谷 吉男	絹及平絹服地関	絹/レーヨン（縫い取り部）			赤系色				経糸、緯糸共に絹のジョーゼットのレーヨン糸を水玉模様に縫取技法で織り込み、その後、精練後、浸染したもの	浸染で															
0607-02-029-07	2004/6/8	生谷 吉男	絹及平絹服地関	絹			淡い紫				経糸/白 緯糸は白と紫が1本ずつ並べて横入れされている	仕上げ加工でモアレ柄のエンボス加工（検査にて）が施されている。															
0608-01-001-09	2004/6/8	川口 浩	絹婦人用布	絹糸、緯糸共に絹			暗赤紫色				地部は変化朱子、柄部は変化平織り。緯糸は太い平糸と細い強撚糸を一越配列した紋織り。						地部では外観はクレープ状を呈し、柄部の花模様では更にくしぼ状の効果を呈し、模様部（花柄）で立体感を生み出している。大部分花柄を表現し、豪華さを演出している。										
0608-01-003-01	2004/6/8	生谷 吉男	婦人用絹布	経糸：絹 緯糸：きぬ（赤色）および箔糸			外観は赤色				経糸は全部変化朱子 一種撚糸強撚糸 2種（細糸）糸を交互に配列し、組織上では組織りであるが部分的に箔糸の浮沈を経糸の押さえる効果によって表現する。紋技法による効果と考えられる。																
0608-01-006-06	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	経糸緯糸ともに絹			地色 薄い土色 柄部は青、黄、紫、未				経緯織り（仮織りによる経緯加工後、製織）	経緯糸は捺染加工によるもの					経糸部にあるものは化繊は化学、化合物などを応用し強撚加工している。花柄、葉などを配する構成は大胆かつ優雅な色調を呈す。										
0608-01-006-07	2004/6/8	川口 浩	婦人用絹布	経糸：絹 緯糸：絹							平組織ながら縞経糸の色糸を並列、又は交互に配列するなどで、格子縞の経縞で流れ状の効果を呈する	経糸の色糸配列の妙を巧みに生かした格子縞としては興味が深い															
0608-01-007-01	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	経糸緯糸ともに絹			ベージュ色				縞柄の柄出しは緯糸の浮き効果による	経緯糸とも先染め糸					縞柄表現は丸燃りの金糸を用い、縞の間隔は粗密の部分を巧みに配してユニークな縞柄を呈す。										
0608-01-008-02	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	地 経糸緯糸ともに絹 柄部はレーヨン			地部は黒色 柄部は赤及びグレー色				二重ビロード（シボンベルベット）で製織する 地部分は平織組織	経糸、緯糸共に先染め糸					地部分はジョーゼット（経、緯糸ともに強撚糸使用）織りとし、パイル糸は先染めレーヨン糸を使用して製織し、ついて柄部分を残して他は溶解（溶剤は不明）することで模様を表現する。所謂オパール加工による変革な色柄を表現する										
0608-01-011-04	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	経糸：絹及び丸撚り金糸 緯糸：丸撚り金糸			地部は金色 柄部は青、緑グレー色				紋織り組織による柄表現	柄部分は経糸を濃淡のあるプリント染色					地部分は丸撚り金糸を経糸緯糸ともに供し、柄部分の緯糸染色糸を例えば鼠色で染色加工するようにボカシ効果を出す。概して金糸をベースとしながら納部は多色のグラデーション効果にて豪華さを呈する										
0608-01-012-08	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	地：経糸、緯糸共に絹 柄部 緯糸：絹（縫糸）			青色の基調色				地部分は経糸、緯糸ともに強撚糸によるジョーゼット織り、柄部は無撚りの太い平糸による紋織。緯糸（青色）は先染糸使用						地部はジョーゼット織りとし、柄は紋織りによって不定型な幾何模様、特に思枠を欲したような部分がユニークな裂地として特徴付けられる										
0608-01-014-05	2004/6/22	川口 浩	絹婦人服地	経糸、緯糸共に絹			白、赤、青				経糸、緯糸ともに先染め糸						一般に例の見ない格子縞柄を特色とする。										
0608-01-019-05	2004/7/12	川口 浩	絹婦人服地	経糸：絹・レーヨン、緯糸：絹			地部：濃紺、柄部：赤と紺				経糸、緯糸ともに強撚糸使いジョーゼット地とパイル経はレーヨンを用い、柄部分は溶出して柄表現、所謂オパール加工による。						オパール加工による浮き出し柄は大物な肉厚効果を出している。										
0608-01-021-03	2004/7/12	川口 浩	絹婦人服地	経糸：絹、緯糸：絹			淡紺色				経糸、緯糸ともに強撚糸にて、経糸は常色、緯糸は淡い紺色にて製織し、絹ボイル調地						薄い地合いのボイル調の生地ながら、玉色調の外観を呈する。										
0608-01-023-07	2004/6/8	川口 浩	婦人用布	経糸：絹及び箔糸 緯糸：絹			金色				経、緯糸ともに強撚糸利用のジョーゼット地に箔糸を経糸使いによる紋織り組織						柄表現の特色は経糸箔撚糸は押し加工による羅平箔撚糸使いであることによる。これにより立体感のあるふくれ効果を呈している。										
0616-01-001-01	2003/5/26	切畑 健		絹	z撚り強く、	無撚	経糸は各色撚状に並べてある。（金茶・紺・茶のボカシ・金茶）緯糸ーヤスラル・紺・地茶・鉄				朱子地 スキで文様ー鉄色は絵緯か			縞地に破れ格子や斜格子が入ル	タテ長の五角形裂 本来は縞文様 現状は段に結られている。 6cmx14.1cm	ネクタイ地										
0616-01-001-12	2003/5/26	切畑 健		絹	クロ 無撚	白・金茶・紺・ムラサキ 無撚					ネクタイ			6．5mmの段織り、段状となり、流れて横場面の段文様とする。混地に三角形が浮き立っている。	正方形に近い、7．3x8．3cm（カミ共）												
0616-01-014-10	2003/5/26	切畑 健		絹	タテー白（ただし葉のところはタテのダイダイがうつって色が見える。z撚りがかかっているが、白とクロのヤスラダテ	ヌキ ダイダイ ミドリ：ヤスラに織り込む、無撚り、ウラヌキ風					朱子を中心にヌキにはウラヌキ文を効果的に織り入れる。			葉並べ 葉の下は細い段（白とクロ）精巧風に段とスル	長方形裂 5．4x9．1cm		精巧風の地に朱子の効果を生かしている。ダイダイヌキの光沢がよい。	白・クロの細段地にダイダイの葉が美しく映えている。ミドリの芯をクロの葉柄が文様をシッカリ見せている。多くのネクタイ地の中で目をひく一裂である。									
0616-01-024-06	2003/5/26	切畑 健	男子用衿飾地絹織物	絹	クロとライトグレイのヤスラダテ、z撚り	クロとエンジ 無撚り					5枚緞子組織を中心として精巧風やヌキジュスなどで変化を面白く表現している。			小円文様 石畳入ル	長方形裂 6．0x9．0cm	ネクタイ地		なんでもない織物と見えつつしかし難しい。組織でもなく変化にとんだ裂地とする									
0616-02-001-02	2003/3/11	生谷 吉男		シルク・アセテート縫込みジョーゼット			ベージュ							本版、酸性染料の上の直接占領	プリント、茶、赤、オレンジ、ベージュ柄		服地?	四角形100×250mm底辺7.3×縦20cm、上辺7.3cm	大正期～昭和初期の木版 異織維の交織の色分け効果を見ったもの									
0616-02-003-01	2003/3/11	生谷 吉男			黒	白		黒	白		ジャガードにて細緻な模様を織り出している			幾何学文様（ジャガード）	四角形			下辺5.0×高さ9.0と9.1×上辺4.9cm	無撚糸の白黒糸をジャーガードにて細緻な模様を作り出している									
0616-02-005-01	2003/3/11	生谷 吉男		絹			紺、茶の縞				縞糸の縞柄に十字柄を模様表現、一部ジャガード又はドビー柄			縞糸の縞柄に十字柄、縞、ボカシ縞				台形底辺9.3cm、高さ7.0cm上辺3.0cm	経に紺糸の縞、糸の色ののうたんを交互入れによってボカシ縞を表現									
0617-01-001-03	2004/7/12	生谷 吉男	人造絹糸絹布類	木綿 ごく一部にレーヨン糸入り			淡いベージュ地色に飾りの茶色糸入り				緯糸の比較的強い撚りが表に顕出し、緯糸一本ずつ組み合わせて熟みのようにして平織りしている。それにレーヨン糸の白糸とベージュ色糸を細い格子（縞にも見せる）に糸を絡ませているような織り方を工夫し、簡間のある実用の布にせよ。			縞	裂地	服地	白・クロの細段地にダイダイの葉が美しく映えている。ミドリの芯をクロの葉柄が文様をシッカリ見せている。多くのネクタイ地の中で目をひく一裂である。色もわずか3色でありつつきわめて効果的である。									
0617-01-003-04	2004/7/12	生谷 吉男	人造絹糸絹布類	絹			赤、黒				緯 平織り	経糸捺染の緯		幾何模様で緯となっている	裂地		経緯の代表的なもの										
0617-01-009-02	2004/7/12	生谷 吉男	人造絹糸・絹糸布類	木綿、	木綿	木綿	地は白色	縫い取り糸は赤紫			細番手の強撚白糸で粗く平織りにし、ジャガードにて赤紫レーヨン糸を花柄に縫い取り方式で織り込んでいる。柄の部分は縫い取り部分に渡っている糸は裏面でカットされている			花柄	裂地	服地											
0617-01-015-05	2004/7/12	生谷 吉男	人造絹糸絹布類	木綿 レーヨン			地色白 縫い取り模様は赤紫				細番手強撚綿糸の白で粗い平織りを作り、ジャガードにて赤紫色レーヨン糸を花柄に縫い取りに織り込んでいる。仕上げに裏糊付けをして糸目を整列させ、補強している。			花柄	裂地		縫い取り部分の織成部分を残して織り込まれていない裏面の浮き糸を多く残してカットしてある。縫い取り部分は縫糸2越、地縫糸2越の交互。縫糸は片燃りのみ										
2284-01-003-2	2003/5/26	川口 浩	パイルランダム柄服地	地（糸？）pile（化繊Rayon?）			黒褐色				経2重pile織物	後加工はオパール加工でpile溶解？		繁ぎ鎖状模様		ガウン用？	randam形状の繁ぎ柄は、特に興味深い。男物に共有できそう。										
2284-01-005-1	2003/5/26	川口 浩		絹？Pile化繊・Rayyon?			黒				地段密組織Pile Rayn	Pile溶解によるオパール加工、白点は鎖料捺染		花柄、白点は鎖	裂地	ガウン用？服地	大柄花模様は大胆で服地としては豪華										
2284-01-005-4	2003/5/26	川口 浩	縦敏柄ベルベット地、地（不明、cotton?）	pile Rayon?			暗緑色				経2重シフォンベルベット地	先染織物		横敏を縦敏に変換供用	敏柄	ガウン用or フォーマルドレス地？	コール天様のシフォンベルベット地方向によって光沢変化し、敏の明暗が鮮やか										
2284-01-008-5	2003/5/26	川口 浩			絹？	絹？横糸に金色使い	地一茶、文柄他一金色				紋柄、緻密な平組織			文柄長括曲線配列に現代感覚にも一致？		裂地	シック な配色に柄のシャpleの中に洒落風を表現										
2284-01-Ⅱ(10)-001-5	2003/5/26	川口 浩	経2重シフォンベルベット（オパール加工？）	地絹パイル、化繊（レーヨン？）			薄いオレンヂ色（パイル）、地（白）				経2重ファースパイル（W）組織	先染（パイルorange色）	オパール加工による柄出し？	霞形柄		服地	ファーストパイル組織のpileは比較的長く、服地縫製すれば、豪華なドレスとなろう										
2284-01-Ⅱ(10)-002-5	2003/5/26	川口 浩	シフォンベルベット服地	地（不明）pile（化繊cotton?）	絹？	絹？	green				経2重組織（シフォンベルベット地）	亀用模様の加工はエンボス？		亀甲柄？	パイルが短い	服地	無地（green）の服地としてフォーマル用なら、ゴージャス感がかもし出されそう。如何にもヨーロッパ好み？										
2284-01-Ⅱ(10)-004-01	2003/5/26	川口 浩	ベロア無地婦人服地	地（不明）pile（化繊cotton?）			薄いpink地				経2重組織	生地にpileに獣毛様押圧加工？		無地	獣毛様風	服地	比較的長いpileに服地に浚打ち状の獣毛表様の表現の冬物？										
2284-02-001-1	2003/5/26	藤井 健三	金入リシネ絣	絹	地経糸z撚り	杼糸緯糸z撚り糸捺染）、絵緯撚糸	地経・緯、s撚、地緯黒撚（経糸捺染）		描経黒、z撚		平地（描経捺染と描経の同越）絵緯（撚金糸）地描トジ銭			抽象文様	裂地	婦人服地	経糸に地と描経を同越とし、地経の緯捺染部分では描経は表に出る。また描経で絵緯の撚金糸を平組成でトジる。										
2284-02-001-5	2003/5/26	藤井 健三	婦人服地	絹	s撚	z撚			淡桃	淡桃	緞子 経5枚、朱子地緯5枚、10枚朱子地紋	先染		花弁模様	裂地（織耳（片）有）、（耳組織＝斜子）	婦人服地	ドレス地										
2284-02-004-5	2003/5/26	藤井 健三	ジョーゼット地、小柄、縫取紋	絹	s撚	s撚、			地経ベージュ	地緯ベージュ、絵緯、黄と朱の杢糸S撚	平地、絵緯縫取（半越）、トジ、地描N3/（1/2経、1/2緯仕様）	先染					夏用薄物										
2284-02-019-02	2003/5/26	藤井 健三	緞子織	緞子	地経・白茶、s撚り	地緯・青・甘S撚					経5枚朱子地、経5枚朱子地綾紋 緞子織	先染		バラ模様	裂地（織片耳アリ）		地紋を地経で表す										
2284-02-032-02	2003/5/26	藤井 健三	緞子（経地綾地文）	絹	地経・紫、甘S撚	地緯・白茶・平糸					経3枚綾（/地、緯3枚・6綾（/地紋	先染		抽象柄	裂地	婦人服地	織り上げた布に捧色捺染を部分的に施す										
2284-02-14-4	2003/5/26	藤井 健三		絹	z強撚	z撚			地経水色	地緯水色経緯水色z撚（同越）				水草模様													
2284-03-001-01	2003/5/26	山東 清伸		絹					エンジ	クリーム	ジャカード、平織、二重織			小三角敷し模様			経糸の浮織とヨコ糸にて柄を変化織表現										
2284-03-001-02	2003/5/26	山東 清伸		絹					クリーム	クリーム、赤	平織り地に経浮織で立体模様を表現、小丸紋は横浮織、ジャカード			立浪に小丸紋													

2284-03-001-03	2003/5/26	山東　清伸		絹					紫	紫・ウス紫・クリーム	平織りに浮織			十字散し			経、ヨコ浮織で刺子風を表現。経糸にはクリームとウス紫が、紫のグランドの中に縞糸として組み込まれている											
2284-03-001-04	2003/5/26	山東　清伸		絹					クリーム	クリーム・朱・茶・緋	3あや地に、経、ヨコ浮織で柄表現			小丸段段			小丸段段を色糸段切り替え											
2284-03-001-05	2003/5/26	山東　清伸		絹					ウスグリーン、クリーム（格子）	ウスグリーン、クリーム（格子）	経浮、ヨコ浮織で格子を表現。平織地、経浮の長い方所は、ヨコ糸で押さえる			小格子柄			ウスグリーンの経糸の中に、クリームの経糸が縞糸として組み込まれている											
2284-03-001-06	2003/5/26	山東　清伸		絹					赤（グランド）、黒（ボーダー）	赤	ちりめん地	赤のグランドに砂子に白く抜染し黒糸は抜染出来ない糸を使用					赤経糸の中に黒糸が縞糸として組み込まれている											
2284-03-001-08	2003/5/26	山東　清伸		絹						赤とクリームのやすら縫	クリーム	うね織一クリームの太糸を交互に段織																	
2284-03-018-03	2003/5/26	山東　清伸		絹					黒	金箔モール・赤・ピンク・グリーン	経、5枚朱子地。ヨコ一朱子トジ			花草模様			金箔モール使用											
2284－04-001-01	2003/5/26	尾形　充彦		絹					黄（文様部分は刺繍）		平織りにの裂地片の中ではワンポイントの刺繍）		細かい平織り（経も緯も細い）	平地（ピンクの輪に赤の線を通したワンポイントの刺繍がある）	四角（長方形）	「婦人服地絹布類」とあるもの											
2284-04-001-02	2003/5/26	尾形　充彦		絹					薄ダイダイ色		加撚糸の平織に、浮き織で文様を表わしている		経・緯糸のゆらぬいていて、縮みのようであるが、シボが出来るほどではないので、それほど強撚ではない	正面花、側面花の散らし模様	四角（長方形）	「婦人服地裂絹布類」とあるもの											
2284-04-001-03	2003/5/26	尾形　充彦		絹			薄クリーム色（アーモンド形の文様のみ青色糸を縫い取り						他の経糸、文様の浮き織り糸、青糸は同じくらいの太さに見える。無撚のようだが、経糸は、細く、加撚りのように見える	つぶれた輪を敢らし、所々に青のアーモンド形の文様を配したもの	四角	「婦人服地裂地絹布類」とあるもの											
2284-04-001-04	2003/5/26	尾形　充彦		絹			白（薄クリーム がかっている）				平地に浮き彫りで文様をあらわしている		経糸に強撚糸を使用しているが、緯糸はふくらんでいて撚りの有無は不明	馬鞍の文様をちらしている	四角（長方形）	「婦人服地絹布類」とあるもの											
2284-04-001-05	2003/5/26	尾形　充彦		絹(?)(縫い取り部分は羊毛か)			ピンク（薄赤）				平織り、糸縫ぎが諸々に見えるも軸ぎ糸の様	色のバラつきが大きい一先染めか後染めか？	バラの花のワンポイント刺繍	バラの縫い取り（刺繍風）	四角（長方形）	裂帳の表紙に「婦人服地絹布類」とある	糸の太さにバラツキが多い、故意に糸の太さをかえているのか、糸の撚りはほとんどないよう											
2284-04-001-06	2003/5/26	尾形　充彦		絹			薄い�色				経緯強撚糸の平織りの地に浮文（浮糸も加撚）			桜の花の木と飛鳥	四角（正方形）	「婦人服地絹布類」とあるもの	糸の太さのバラツキがあり、織り糸の僅かな歪みがみえる											
2284-04-001-08	2003/5/26	尾形　充彦		絹			クリーム				平地に経の浮き文で文様を縦横をしている		貼付裂の右端が、耳の部分の一部らしく織目が僅以上粗くなっている	貼付裂（今、逆さ向きに貼付されている）	四角（長方形）	裂帳の表紙に「婦人服地絹布類」とある	糸の太さにややバラツキがある。経の撚りが無いように みえる											
2285-01-001-02	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集	絹			濃茶地				ジャガード織、朱子織	先染					模様には綿縞な織砂子と浮織で優しを表現している。朱子織にヨコ糸でプラム地紋を織出している。											
2285-01-005-01	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集	絹			紺地、黄濃淡のストライプ				ジャガード織、平織地	先染		ストライプ			タテ浮、ヨコ浮、畦地変化織でストライプ地模様を表現											
2285-01-006-04	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集	絹			茶地				ジャガード織、茶経と青色の縞経	先染					グランドは、茶とベージュの縞糸で稲妻柄の地紋を表現。青色の変紋は、経糸浮織で表現											
2285-01-011-08	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集	絹							平織地/ヨコ糸ウス1本	先染		ストライプ			博多織り風二見える所は、経糸は、ベージュと鼠のヤスラ経。経糸色数多、鼠、鼠、ベージュ											
2285-01-017-04	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集	絹										ストライプグラディエーション			経糸の配列で太細をつけ濃淡交互に割付け、グラディエーションを表現する											
2285-01-019-11	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集				グレー				朱子他			ダイヤ柄			朱子他にタテ糸浮織の赤色ダイヤに薄グレーの平織のダイヤ柄。経糸はグレー濃淡と赤											
2285-01-021-13	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集				ベージュ他、経糸、　ベージュ、グリーン、金糸							丸柄			平織地にグリーンの経糸と金色のメタル糸を使って模様を浮織で表現している。											
2285-01-024-13	2003/9/9	森　克巳、山東　清伸	ネクタイ及びリボン類集									先染		ストライプ			グレーとグリーンの経糸は1本糊つけ加工が施されている。きれいな円筒形で糸につやが出ている。											
2300-01-003-012	2003/9/9	尾形　充彦	男子用衿飾地絹織物裂	絹（裂帳の表題による）					白、焦茶	白茶・金茶・朱赤・焦茶（6色）	地が3枚綾（経地合）で、白薯と金茶の縞糸による点々模様が浮き文。	色糸が各々先染めされている		長さ10数センチ、幅7～8cmの長方形の裂地片	男性用衿飾（裂帳の表題による）		朱赤糸が一番太い。他の色の縞糸も太く経糸は、太さが朱赤の縞糸以外の縞糸の半分以下。経糸は白と焦茶が白・焦茶・白・焦茶・白・焦茶・白。、と並べている。文様の点々は、浮き又になっているが、他の部分は、3枚綾組織。											
2300-01-003-02	2003/9/9	尾形　充彦	男子用衿飾地絹裂	絹（裂帳に絹とあることが理由）					白・黒	黄茶・濃エンジ・エンジ、（5色）	白（径）と黄茶（緯）、黒（径）と2種のエンジ（緯）の組み合わせによる二重織物。ジャガードによる縞紋出し。	5色の糸を先染め	1930年に整理されたということで、裂帳は傷んでいるが、裂地自体は美麗	花葉文によるペーズリー柄	10センチ四方くらいに切断された裂地片	男子用衿飾地(裂帳の表題による)	黒色染めは明治より前ではおそらくタンニンによる黒染め(八丈島のようなしぶ存在せず、めずらしいが、本品は、化学染料による黒染めであろう。ただ、黄茶やエンジ色に染められた糸と比べてくふくらんで見える。											
2300-01-003-03	2003/9/9	尾形　充彦	男子用衿飾地絹物裂	絹（裂帳の表題による）					濃緋・白	赤・白茶(4色)	ジャガードによる紋織り物	色糸各色先染め	経糸は、緯糸の半分以下の太さ	ヒシ格子風。各ヒシ形の中も縞かいヒシ格子風。	約10センチX約5センチの長方形の裂地片	男子用衿飾地(裂帳の表題による)	経糸は、緯糸の半分以下の太さ。緯糸の縞糸は、緯糸の半分以下。経糸は白と焦茶が交互に並べてあり、緯糸の縞糸は、焦茶が

2631-03-009-01	2004/7/27	行松　啓子	婦人服地絹布類	地部分は経、緯糸共にレーヨンを用い絹糸を織り込んでいる	レーヨン	レーヨンおよび絹	黒地にページュの柄					二重織			ひし形模様	端布	婦人服	単純な二重織りに表面に、絹糸を織り込む事により、風合いに重みを出している。									
2634-2-01－008	2004/12/14	川口　浩	婦人服地絹布地	絹・アセテート？	絹・アセテート？	絹・アセテート？ 丸撚錦糸	こげ茶		こげ茶・黄色	こげ茶・黄色	経、緯二重組織の紋織	先染糸			丸形に曲線を配する		婦人服地	丸形を囲う部分は、こげ茶色の経・緯糸に黄色の経・緯糸を織り込み、黄色の糸で縁取りし、しかも錦糸使いで強調している。二重組織と経・緯間の空間をたくみに応用し、しかも縁取り柄も一興を加える。									
2634－2－03－002	2005/2/7	川口　浩	婦人服地	レーヨンおよび金属糸	レーヨン、金属糸	レーヨン　金属糸	こげ茶		こげ茶	こげ茶	斜子様変わり平織地	先染糸			格子縞柄		婦人服地	たて糸は、平よりのレーヨン糸および丸撚糸糸を、よこ糸はレーヨンの壁糸糸糸および丸糸を綾まぜたファンシー糸を用いる。ファンシー糸のよこ糸挿入により横段を呈しながら、丸撚金糸による格子文様が豪華さを表現されている。錦糸は、丸撚の押圧による扁平加工が施されている、重厚感があって、しかも豪華な外衣として用いたものと考える。									
2634-2-03-006	2004/12/14	川口　浩	婦人服地絹布地	絹	絹	絹	黒		黒	黒	極太の強撚の緯糸使用に平織組織の織物	先染糸			不定形幾何学模様		婦人服地	点描柄の外観を呈するが斜あるいは錐を突き刺して加工して穴をあけたもの。なおその穴あきで点描柄を呈したところがユニークである。緯糸強撚糸使いによるため穴の部分ではつれにくいことを応用していると思われる。									
2634-2-03-07	2004/12/14	川口　浩	婦人服地絹布地	絹	絹	絹および金糸	こげ茶		こげ茶	こげ茶、エンジ、緑	紋ジャガード組織	先染糸		色糸および金糸使いで柄を表現する。金糸は丸撚の扁平糸加工を施したものを使用する	葉柄		婦人服地	南松模様の柄の中に、全糸使いで柄を配している。その中で色糸使いの効果で陰影のあるように見せかけ、そのために、立体感のある外観を呈するのが、特に興味深い、デザイン的に例を見ない。									
2634-2-08-001	2004/12/14	川口　浩	婦人服地絹布地	絹	絹	絹	ページュ		ページュ	ページュ	平織組織の経糸が細く、緯糸が太い経糸曲がりの紋状	表面の地合い、先染糸使用			花弁模様		婦人服地	エンボス加工によるモアーレ柄であるが、ペーパーロールと、金属ロールもよる押圧によると思われる。無地部分の組織が、紋状であるため、モアーレ加工が顕著に表れ柄部は経糸が浮き組織であるためモアーレ柄が表れにくい。	典型的なエンボス加工によるモアーレ柄の一例である。								
2634-2-18-003	2005/2/7	川口　浩	絹婦人服地	絹	ピンク	赤、白、緑、青	地色：ピンク、柄部、多色		ピンク	赤、白、緑、青	緯＝重織紋組織	先染			花柄		絹婦人服地	豪華な花柄をピンク色に配色した外国製裂地の船来品とは思えない和柄のデザインの一例として興味深い									
2634-2-22-002	2005/2/7	川口　浩	絹婦人服地	絹	絹	絹	鶯脂色		鶯脂色	鶯脂色	よこ糸に強撚糸を用い、たて糸は平糸を用いたクレープ用地風にうき綾で、模様を表現する先染織物	よこ糸に強撚糸を用い、たて糸は平糸を用いたクレープ用地風にうき綾で、模様を表現する先染織物			花柄変形		絹婦人服地	クレープ用の地風に表面をカレンダー仕上げによりフラットな外観を呈する。地味な地色に変形の花柄を浮き出し、効果によって、柄部で光沢を強調している。									
2634-2-26-001	2005/2/7	川口　浩	絹婦人服地	レーヨン	レーヨン	レーヨン	黄金色		黄金色	黄金色	地部分は、太糸をたて糸に撚糸をよこ糸用いた経曲がり構造の平織組織。紋柄部は太糸のたて糸の浮き出し効果で文様を強調する。しかも全体をローラーエンボス加工による木目模様を付加する。豪華な夜会用外衣として用いたものか？織技術と後加工の共用の資料として、興味深い。				ばら花文様		婦人服地									
2634-2-29-004	2005/2/7	川口　浩	絹婦人服地	レーヨン？	レーヨン？	レーヨン？	黄金色		黒および黄金色	黒および黄金色	紋織組織	先染糸使用			抽象柄		婦人服地	黒糸を用いた撚糸構成から、緯糸は黄金色糸を織組織により、黄金色の光沢を一層際立たせ、しかも後加工の撚出しのためのカレンダー仕上げにより、その効果を倍加したと思われる。概して、織物でありながら、黄金色を強調した一例として興味深い。									